

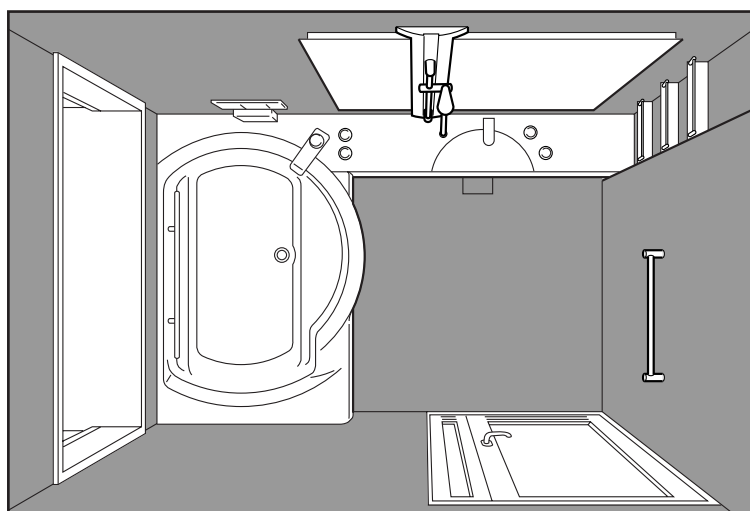
取扱説明書

j-bath

BYD- 1624 TAJ
 1620 TAJ
 BYF- 1624 TAJ
 1620 TAJ

j-bath style

BYD- 1624 TAJG,TAJU,TAJS,TAJE
 1620 TAJG,TAJU,TAJS,TAJE
 BYF- 1624 TAJG,TAJU,TAJS,TAJE
 1620 TAJG,TAJU,TAJS,TAJE



この度は当社商品をお買い求めいただき
 誠にありがとうございました。

このシステムバスルームを美しく、また快適にご愛用いた
 だくために、ご使用前にはこの取扱説明書をよくお読みい
 ただき、正しく安全にお使いください。

この取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、
あらかじめご了承ください。

- ※ 品番シールは、浴室ドア枠上部に貼っています。
- ※ 本取扱説明書と水栓金具、機器類の取扱説明書は、必要なときにすぐ取り
 出せるところにまとめて保管してください。
- ※ 転居される場合、次に入居される方に、この取扱説明書をお渡しください。
- ※ オゾン殺菌方式の機器は浴槽以外の部位についても劣化を促進させる
 ことがありますので、使用しないでください。
- ※ アクアジェット・あわりズム・ヒーリングライトをご使用の場合、
 浴槽浄化保温機（24時間バス）に該当する機器は使用しないでくだ
 さい。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」および付帯する設備機器の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。



警告

..... この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

..... この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



..... この絵表示は気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。



..... この絵表示はしてはいけない「禁止」の内容です。



..... この絵表示は分解してはいけない「禁止」の内容です。



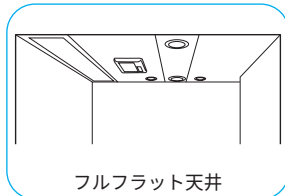
..... この絵表示は必ず実行していただく「強制」の内容です。

も く じ

各部のなまえ	1
安全上のご注意	4
使用時のご注意	6
ご使用方法	
排水栓を閉じる	9
水栓について	10
浴槽にお湯をためる	10
洗い場でお湯を使う	11
ドアの施錠・解錠と取外し方	12
風呂フタの使い方	15
ランドリーパイプの取付け方	15
照明の使い方	16
温水式換気乾燥暖房機の使い方	17
換気扇の使い方	18
アクアジェットの使い方	18
あわりズムの使い方	19
ヒーリングライトの使い方	20
浴室テレビの使い方	23
バスオーディオの使い方	24
マッサージシャワーの使い方	25
くもり止め機能付ミラーの使い方	26
即湯システムの使い方	26
お手入れ方法	
入浴後のお手入れ	27
日頃のお手入れ	27
週1回程度のお手入れ	29
月1度のお手入れ	32
念入りなお手入れ	34
長くお使いいただくために	
シャワーや吐水口からの水量が少なくなったと感じたら	36
即湯システムのストレーナー掃除	40
照明用ランプの交換	43
冬期凍結の恐れがある場合	47
故障かな？と思ったら	51
アフターサービスについて	55
品番を調べる	58
廃棄について	59

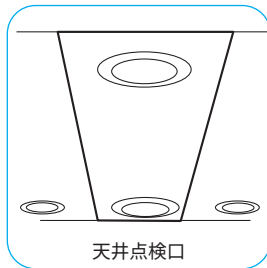
各部のなまえ

天井



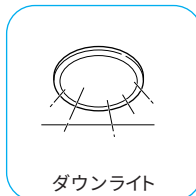
フルフラット天井

点検口



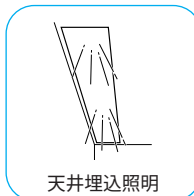
天井点検口

照明器具



ダウンライト

※TAJは2灯
TAJG/U/S/Eは3灯

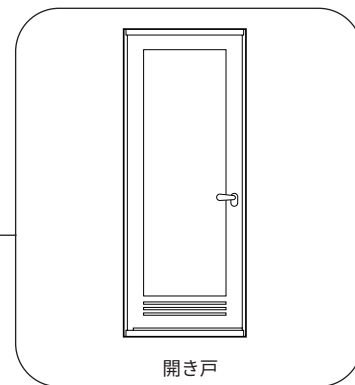
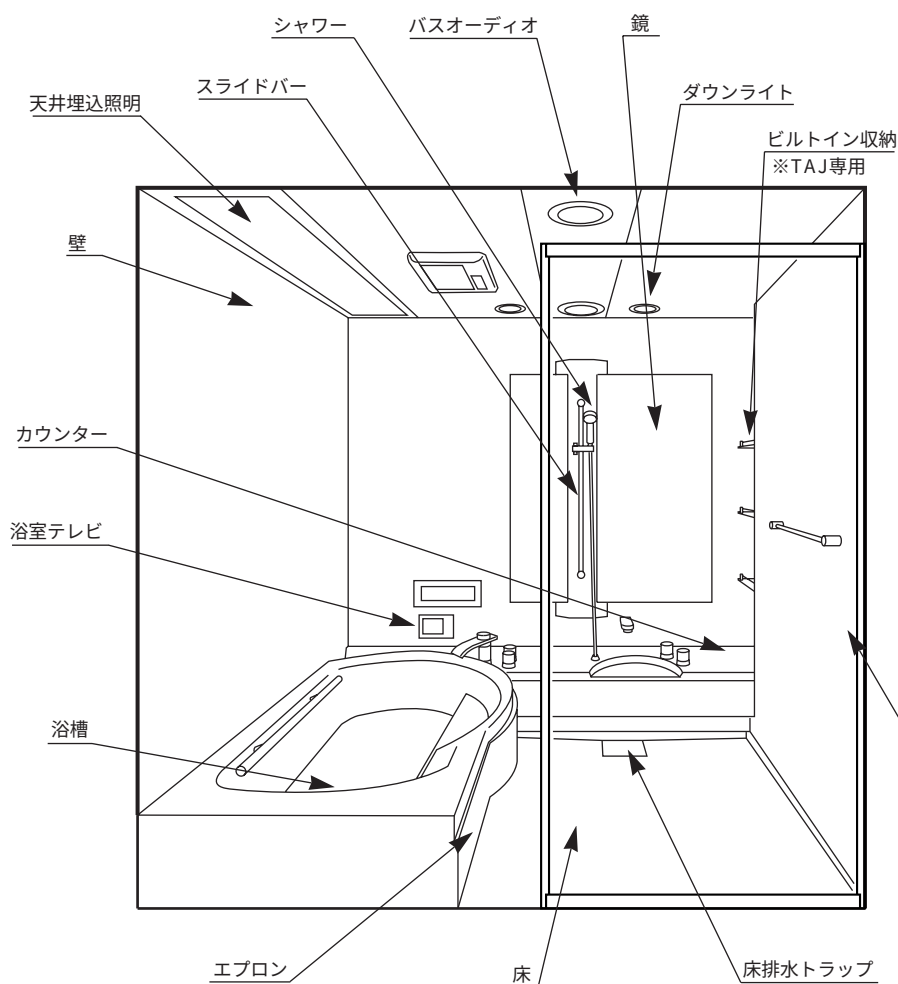


天井埋込照明



ビルトイン収納照明

※TAJ専用



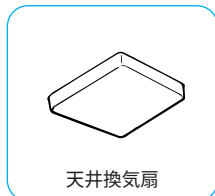
※ご使用いただくシステムバスルームは上記イラストと異なる場合があります。

⚠ 注意

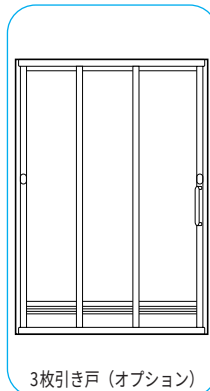
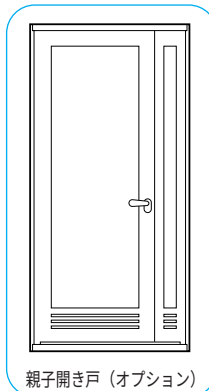
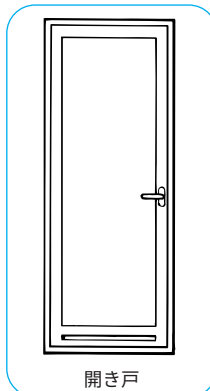
点検口は電気配線や配管関係などに異常が起きた場合、開けて点検・修理するためのものです。
ご自身で開けたり、天井裏に物などを置かないでください。
※火災・感電や漏水の原因となります。



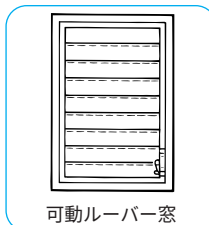
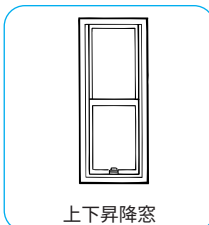
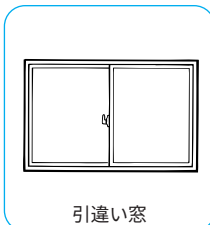
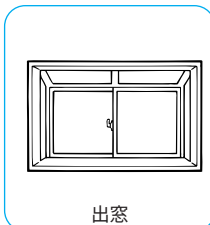
換気設備（グレードによって標準とオプションが異なります）



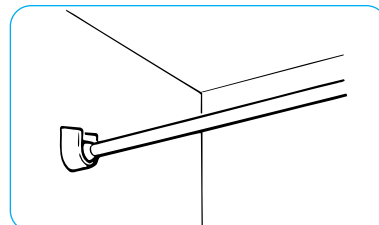
ド ア



窓（オプション）



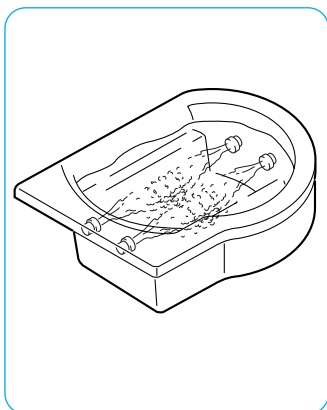
ランドリーパイプ



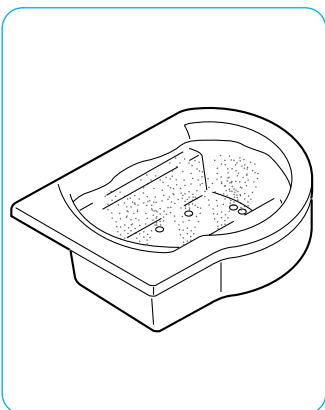
※グレードによって標準とオプションが異なります。

機能浴槽（TAJ,TAJG/U専用）

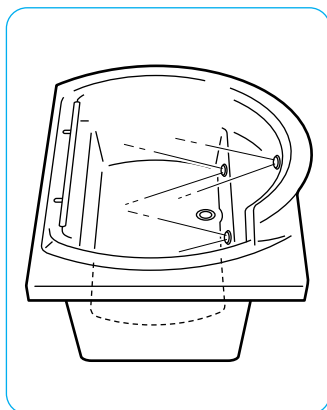
アクアジェット



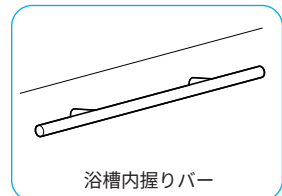
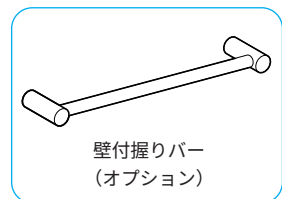
あわりズム



ヒーリングライト



握りバー

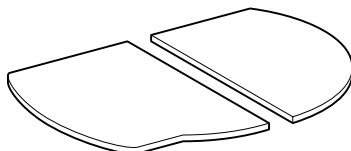


プッシュワンウェイ排水栓



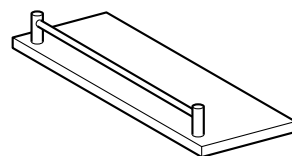
内蔵型

風呂フタ



組フタ

収納部

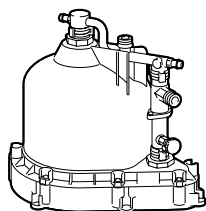


ビルトイン収納棚（TAJ専用）



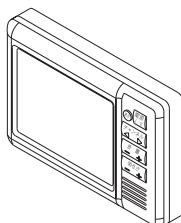
高級コーナー棚（TAJG/U/S/E専用）

即湯システム



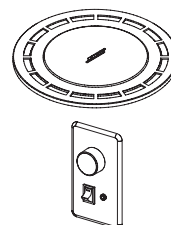
即湯システム（TAJG/U/S/Eオプション）

浴室テレビ



浴室テレビ（TAJG/U/S/Eオプション）

バスオーディオ



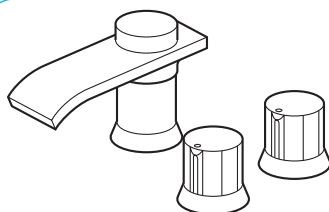
バスオーディオ（TAJG/U/S/Eオプション）

※即湯システム、浴室テレビ、バスオーディオは、TAJは標準、TAJG/U/S/Eはオプションとなります。

水栓金具の種類

●浴槽側水栓

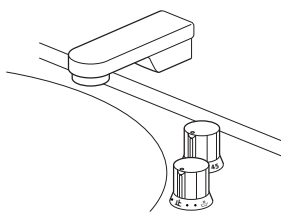
ツーハンドル水栓



滝口吐水デッキ水栓

●洗い場側水栓

サーモスタット付水栓



埋込サーモ水栓

●シャワーヘッド

シャワーヘッド



マッサージブレーシャワー

安全上のご注意 (必ずお守りください)

この安全上の注意をよくお読みの上、正しくお使いください

ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結び付くものです。

安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

水栓金具、暖房機、アクアジェットなどは商品に添付されている各取扱説明書および本体表示に従ってください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

警告

風呂フタについての警告

風呂フタを設置する場合は、風呂フタの上に体重をかけたり、乗らないでください。

※フタが外れたりして、ケガやヤケドをするおそれがあります。



水栓金具や暖房機などの取扱いについての警告

水栓金具や暖房機などの付帯設備は、それぞれの商品に添付されている取扱説明書、および本体の注意表示に従ってお使いください。

※誤った使い方をすると、**思わぬ事故や故障のおそれ**があります。



アクアジェットご使用時の警告

- ・安全カバーが外れたり破損したままで使用しないでください。
- ・使用するときは、吸込口や噴射口をふさがないでください。
- ・浴槽内にもぐらないでください。
- ・子供だけで、入浴中の場合は運転させないでください。

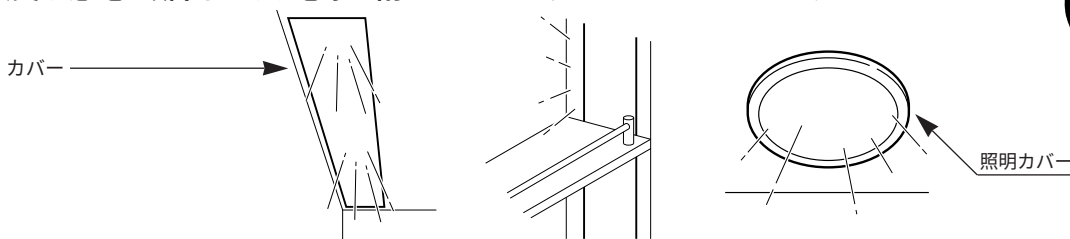
※髪や身体の一部が吸い込まれて、**おぼれ**たりケガをするおそれがあります。



照明や暖房機についての警告

照明器具や暖房機などの電気製品は、カバーを外して使用したり、直接水をかけないでください。

※**火災や感電・故障したり、電球が割れてケガをするおそれ**があります。



照明器具にタオルなどをかけないでください。
※**過熱して火災になるおそれ**があります。



暖房機などのお手入れや、電球を交換する場合は必ず電源(スイッチ)を切ってから行ってください。
※**感電やケガをするおそれ**があります。



排水栓についての警告

浴槽排水栓は、きちんと閉まっていることを確認してください。

お手入れなどで排水栓を取り外した時はカチンと音がするまではめ込んでください。(P.31参照)

※追いだし機器をご使用の場合、漏水により空だきとなり、**火災のおそれ**があります。



⚠ 注意

ケガに注意!!

暖房機や換気扇の運転中はルーバーを外してファンやヒーターに触れたり、指や棒を入れないでください。

※感電やケガ・故障のおそれがあります。



浴槽に飛び降りたりして、無理な力をくわえないでください。

※浴槽が破損してケガをしたり、漏水するおそれがあります。



浴室は石けん液などですべりやすくなっています。ゆっくりとした動作を心がけてください。

※転んでケガをするおそれがあります。



鏡に熱湯や冷水をかけないでください。※急激な温度変化は鏡破損の原因となり、ケガをするおそれがあります。



ものをぶつけるなど、鏡や壁への衝撃は避けください。

※表面が傷ついたり、割れてケガをするおそれがあります。



点検口は設備点検時以外は開けたり、中に物などを置かないでください。

※火災・感電や漏水、またフタが外れ、落下してケガをするおそれがあります。



浴槽やカウンターの上に乗って、掃除や電球交換をしないでください。

※不安定な作業になりますので、転倒してケガをするおそれがあります。



カウンターの内部には手を入れないでください。

※カウンター裏のお手入れをするときには、必ずビニール手袋などで手を保護して行ってください。突起部分やすき間などでケガをするおそれがあります。



自分で取り付けないで!!

ご自分で壁に穴をあけて、握りバーやタオル掛けなどを取り付けしないでください。

※タイルや壁材が割れたり、漏水の原因となります。



ヤケドに注意!!

風呂フタは必ず浴槽に合ったものをお使いください。

※フタが外れて、ケガやヤケドをするおそれがあります。



溶剤、薬品に注意

排水口にシンナーなどの溶剤や薬品類を流し込まないでください。

※漏水の原因となります。



使用時のご注意

使用時のご注意(故障をおこさないためにお守りください)

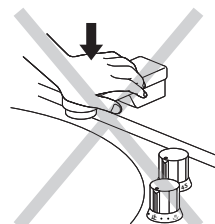
故障をおこさないためにお守りください

無理な力を加えないで!!

重いものや硬いものを落とさないでください。
※ **キズの原因**となります。

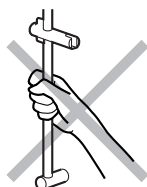


水栓吐水口を上下に動かしたり、無理な力を加えないでください。
※ **漏水の原因**となります。



窓枠の上に植木ばちなどの重いものを置かないでください。また窓枠につっぱり式のポールやブラインドなどを取り付けないでください。
※ **破損や漏水の原因**となります。

タオル掛けやランドリーパイプに無理な力を加えないでください。
※ **破損や漏水の原因**となります。



排水栓が開いた状態で栓の上に乗ったり、栓に荷重がかかった状態で、排水栓開閉ボタンを無理に押さないでください。
※ **排水栓が破損し、漏水の原因**となります。



スライドバーに無理な力を加えないでください。
※ **破損や漏水の原因**となります。

洗面台やカウンターに乗ったり、すわったりしないでください。
※ **破損や漏水の原因**となります。



おそうじのときは!!

クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは塩酸、アンモニア、苛性ソーダなどの薬品や漂白剤は使用しないでください。

※ **キズ、変色などの原因**になります。

また、サンドペーパーやタワシの使用も、光沢を失わせキズをつけるのでお止めください。



ドアは飛散する水を防ぐためのものです。ドアに直接水をかけないでください。
※ **浴室外に水が漏れ、家財などをぬらす原因**となります。

お手入れなどで、床排水トラップや浴槽排水口のヘアキャッチャーを取り外した後は、きちんとはめ込んでから、使用してください。

※ **排水管の詰まりや悪臭の原因**となります。

浴槽内の注意!!

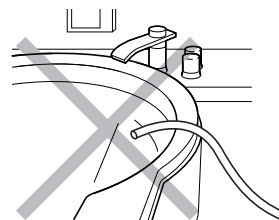
アクアジェット付の浴槽では、浴槽内で石けん・ボディシャンプー類を使用しないでください。
※多量の泡が発生するとともに**故障の原因**となります。

入浴剤や、温泉水、自家製の井戸水を使用しないでください。
※**浴槽表面の変色や機能部の故障の原因**となります。

必ず専用の風呂フタを使用してください。
※フタの素材によっては、**浴槽を傷める原因**となります。

浴槽の上にビニールホースなど樹脂製品を長時間置かないでください。

※塩ビ、ゴムなど、材質によっては**浴槽を傷める原因**となります。



浴槽内には半身浴として使用できる段があります。段差に注意して入浴してください。
※つまずいて**ケガをするおそれ**があります。

入浴中以外はシャワーホースをカウンター内またはスライドバーのフックに収納してください。
※ホースが長時間浴槽に触れていると、**浴槽表面を傷める原因**となります。

※ご使用になる浴槽は、イデアトーン（表面に深い透明の層を持った浴槽）です。

金属類を放置しないで!!

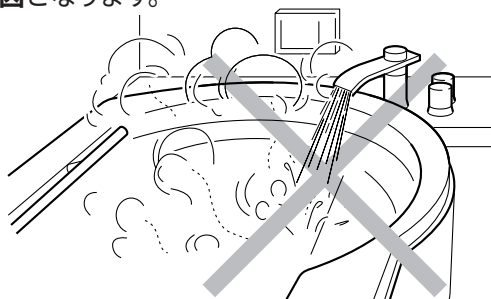
ヘアピン・カミソリの刃などをカウンターに放置しないでください。
※**サビが付着して取れなくなる場合があります。**

火を近づけないで!!

タバコなどの火気を近づけないでください。
※**キズ・ヒビ割れの原因**となります。

熱湯に気をつけて!!

お湯は温度を調節して給湯してください。
※直接熱湯(80℃以上)を入れたり、お湯を沸かしすぎますと**浴槽や排水金具を傷めたり、寿命を短くする原因**となります。



目地のキズに気をつけて!!

床・壁・天井・窓枠などの継目部分には、漏水を防ぐため目地材(またはコーキング材)がうたれています。はぎ取ったり、キズつけしないでください。
※**漏水の原因**となります。

化粧品の使用について

浴室内で毛染め剤やマニキュア除光液をご使用される時は、必ずシートなどで床を保護してください。
※床に付着すると**シミになる場合があります。**

浴槽浄化保温機について

アクアジェット・あわりズム・ヒーリングライトをご使用の場合は、浴槽浄化保温機(24時間バス)に該当する機器は使用しないでください。
※**機能部の故障や配管の腐食の原因**となります。

換気などに注意!!

暖房機や換気扇の吸込口をタオルなどでフタをしないでください。

※故障の原因となります。



入浴後は窓を開けたり、換気扇を使用するなど、浴室にこもった蒸気を屋外へ排出してください。

※浴室にこもった蒸気は、**悪臭やカビの発生原因**となります。

※換気扇を使用する時は、窓やドアを開けないでください。十分な換気できません。

入浴中や貯湯、入浴直後は浴室のドアを必ず閉めてください。

※浴室外に蒸気や水が漏れ、**家財などをぬらす原因**となります。

※ドアがきちんと閉まった状態でも、シャワーなどで勢いよくドアのすき間に散水すると外へ漏れることがあります。また蒸気や光につきましても完全に遮へいする構造ではありません。



洗い場の床について

床表面は滑りにくいよう微細な凹凸のある岩肌調にしております。そのため一部に水滴が残り、乾燥に時間がかかる（場合によっては1日以上）ことがあります。

※床に残った大きな水滴は、入浴後使い終わったタオルなどでふいておく乾燥に時間がかかりません。

凍結に注意

凍結のおそれがある場合は、水栓、アクアジェットおよびあわりズム、即湯システムの取扱説明書に従って必ず水抜きをしてください。また、温水式換気乾燥暖房機、熱源機ともに電源を切らないでください。（詳しくは熱源機の取扱説明書をご覧ください。）

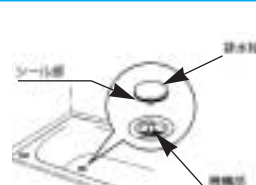
※冬期凍結のおそれがある場合は、浴槽内の湯は排水してください。

追いだき付き給湯機を使用の場合は、給湯機の取扱説明書に記載の凍結防止方法を参考にしてください。アクアジェットをご使用の場合は、給湯機などに関係なく浴槽内の湯は必ず排水してください。

※破損や故障の原因となります。

冬期に排水栓のシール部や機構部の水が凍結した状態で排水栓開閉ボタンを無理に押さないでください

※破損の原因となります。



凍結のためにボタンを押しても排水栓が開閉しない場合は、排水栓に40℃以下の温水をかけ、解凍した上でご使用ください。



※冬期凍結のおそれがある時期に、長期間使用しない（浴室内温度が零度以下へ低下）場合は、床排水トラップ内の水が凍結しないように、トラップ内の水を吸い出して不凍液と入れ替えてください。不凍液が入手できない場合は、ヘアキャッチャーや防臭パイプを外してから不凍液の代わりにぼろ布をトラップ内に押し込んで、排水からの臭気が入らないようにしてください。

KILAMIC抗菌仕様商品についてのご注意

- KILAMIC抗菌仕様商品は表面に菌が付着したときに抗菌効果を発揮し、菌の働きによる汚れの生成を抑制します。ホコリ、油膜などが表面を覆った場合、この上に付着する菌に対しては十分な抗菌効果を発揮できません。
- KILAMIC抗菌仕様商品は菌の繁殖を抑制する効果は持ちますが、菌がまったくなくなるわけではありません。したがって、本商品を感染防止を目的として使用しないでください。

ご使用方法

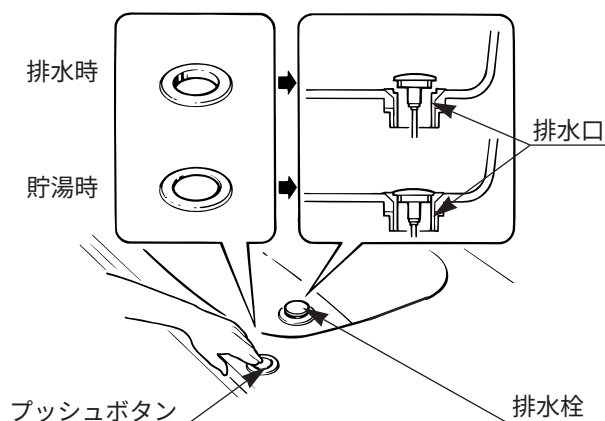
排水栓を閉じる

内蔵型プッシュワンウェイ排水栓

プッシュボタンを押して、排水栓の開閉を行います。

1 浴槽へお湯をためる時

プッシュボタンが上がった状態にします。プッシュボタンが下がっている場合は、プッシュボタンを押すと、排水栓が上がった状態になります。



2 排水する時

プッシュボタンが下がった状態にします。プッシュボタンが上がっている場合は、プッシュボタンを押すと、排水栓が下がった状態になります。

⚠ 注意

排水栓が開いた状態で栓の上に乗ったり、栓に荷重がかかった状態で排水栓開閉ボタンを無理に押さないでください。

※排水栓が破損し、漏水の原因となります。



水栓について

詳しくは各水栓金具の取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意

- 水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
※高温の湯が出てヤケドをするおそれがあります。 
- 高温の湯をお使いの時には、吐水口やシャワーホースは高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。
※ヤケドをするおそれがあります。 
- ハンドル操作の急閉止はおやめください。
※ウォーターハンマー（衝撃音）が発生することがあります。
※配管から漏水をおこし、家財などをぬらす原因となります。 



もしもこんなとき

給湯器の設定温度が低温（40℃前後）の場合、水栓から吐水される湯温は、表示温度より低くなります。このような場合は、給湯器の設定温度を50℃以上にするか、水栓付属の取扱説明書をご覧ください。

※(株)INAXメンテナンスにご依頼いただければ、調整にお伺いします。(有料)

浴槽にお湯をためる

ツーハンドル水栓

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。また、自動湯張りの給湯機器がついている場合は、給湯機器の取扱説明書をご覧ください。

① 水側ハンドルを回します。

② 湯側ハンドルを回し、適温にします。

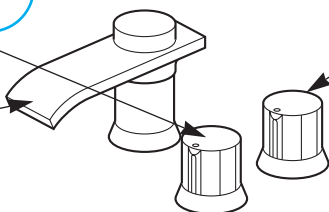
水側ハンドル

水を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは青色です。

湯側ハンドル

お湯を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは赤色です。

吐水口



洗い場でお湯を使う

洗い場側水栓（埋込式サーモスタット付水栓）

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

1 温度の調節

温度調節ハンドルの温度表示の数字（温度目盛）は、吐水温度を示しています。これを目安として、温度表示ボタンを温度目盛に合わせてください。



ワンポイント

温度目盛の上限は「45」で、約45℃以上のお湯はできません。

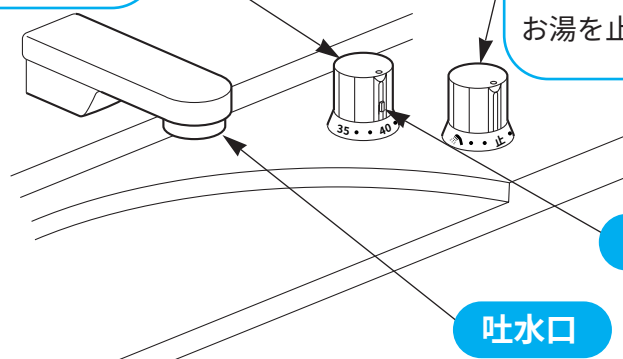
高温側に回すと安全ボタンの働きで一度温度調節ボタンが止まります。40℃以上の吐水温度が必要なときは、安全ボタンを押しながら回してください。

温度調節ハンドル

お湯の温度を調節します。

シャワー・バス切替ハンドル

シャワーと吐水口の切替えとお湯を止めます。



安全ボタン

吐水口

2 吐水口、シャワーの切替え

シャワー・バス切替ハンドルの凹部と切替表示の「止」マークが合っているところが止水位置です。シャワー使用のときは、シャワー・バス切替ハンドルを左に回してください。吐水口使用のときはシャワー・バス切替ハンドルを右に回してください。



もしもこんなとき

給湯器の設定温度が低温（40℃前後）の場合、水栓から吐水される湯温は、表示温度より低くなります。このような場合は、**給湯器の設定温度を50℃以上にする**か、水栓付属の取扱説明書をご覧ください。

※（株）INAXメンテナンスにご依頼いただければ、調整にお伺いします。（有料）



ワンポイント

洗い場では、高さ30 cm程度の風呂イスをご使用することをおすすめします。

ドアの施錠・解錠と取外し方

開き戸、親子開き戸、3枚引き戸でご使用方法が異なります。以下の説明をよくお読みいただき、該当する方法で正しくご使用ください。

浴室ユニットをご使用の前に、ドアを開けたままで解錠が可能か確認してください。万一、解錠ができない場合は、購入先へ連絡してください。



ワンポイント

小さなお子様が浴室内に一人で入らないように、入浴時以外は浴室外側からの施錠をおすすめします。

開き戸・親子開き戸の施錠・解錠

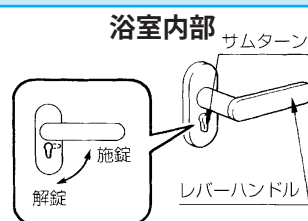
浴室内部からの施錠・解錠

施錠はサムターンを横向きにし、解錠は下向きにします。

※浴室から出る際にドアを閉めるときは、サムターンを解錠状態にしてください。

施錠の状態にしたままドアを閉めると、入室できなくなります。

その場合は、下の「浴室外側からの解錠（非常時）」をご覧ください。

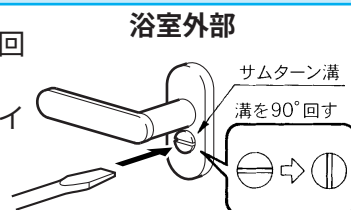


浴室外側からの施錠・解錠（非常時）

施錠は、サムターン溝にマイナスドライバーなどを差し込んで90°回します。

非常時に浴室外から解錠するときは、サムターン溝にマイナスドライバーなどを差し込んで90°回してください。

サムターンが解錠となり、ドアを開けることができます。

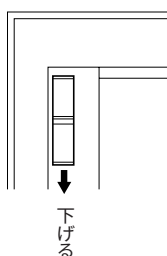


開き戸・親子開き戸の取外し方

浴室内で施錠したまま人が倒れるなどによりドアが開かなくなった場合には、以下の要領で解錠し、扉を取り外して救助作業を行ってください。

1

扉上部のツマミを下げます。

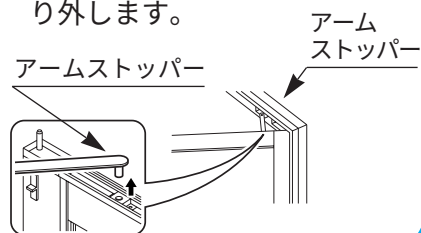


2

レバーハンドルを操作し、ドアを浴室側に開きます。

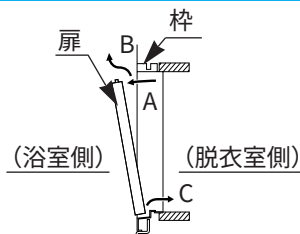
3

扉上部のアームストッパーを上へ押し、扉本体から取り外します。



4

扉上部を浴室側へ倒しながら（図中A）上方へ持ち上げます。（図中B）



扉を少し斜めにしながら、扉下部から脱衣室側へ扉を取り外します。（図中C）

※取付けは「取外し方」の④→①→②→③の手順で行います。

※取付後は、ツマミの溝がタテになっていることを確認してください。

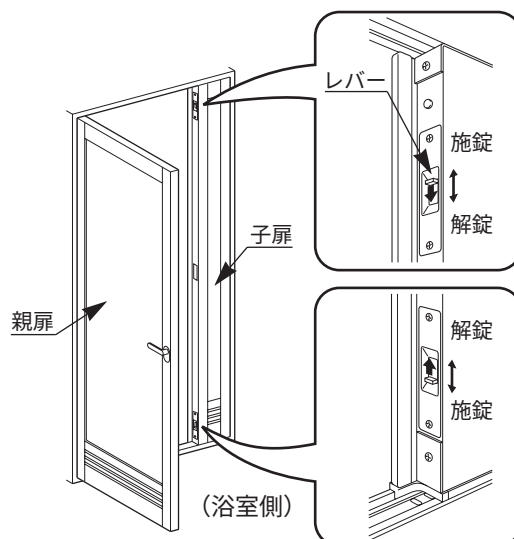
親子開き戸（子扉）の施錠・解錠

親扉を開いた状態で、子扉側面にあるレバーをスライドさせます。



注意

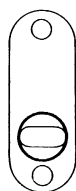
入浴中は子扉のロックをかけた状態で使用してください。



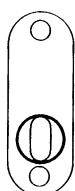
3枚引き戸の施錠・解錠

浴室内部からの施錠・解錠

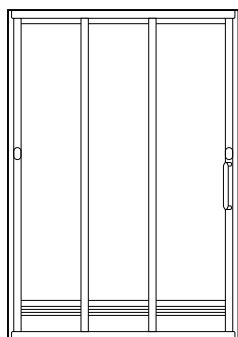
浴室内部



施錠



解錠

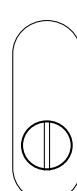


浴室外側からの施錠・解錠（非常時）

浴室外部



施錠



解錠



マイナスドライバーで回す

⚠ 注意

開閉の際には、戸のすき間に指や手をはさまないように、注意してください。
※ケガをするおそれがあります。



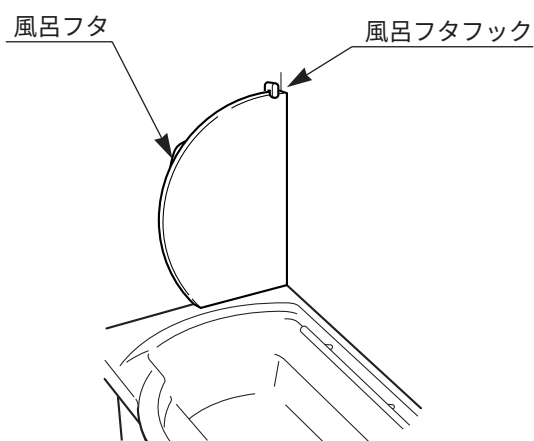
※扉の取外し方については、P.33の「下カバーの外し方」をお読みください。

風呂フタの使い方

ワンポイント

風呂フタはカビが発生しやすい箇所です。ときどき、うすめた浴室用合成洗剤をスポンジなどにつけて洗い、その後水で流して陰干しなどでよく乾燥させると、カビが発生しにくくなります。

浴槽背もたれ側の壁に風呂フタフックが付いています。
入浴するときは風呂フタをフックにかけてください。

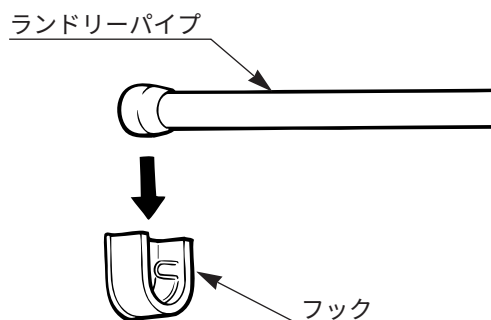


⚠ 注意

風呂フタフックにもたれたり、無理な力をかけないでください。
※ 破損の原因となります。

ランドリーパイプの取付け方

浴室で洗濯物を乾燥させるときに使用します。
浴室壁の両側にあるフックに確実にはめてご使用ください。



⚠ 注意

ランドリーパイプにぶらさがったり、強く引っ張らないでください。

※ ケガをするおそれがあります。

※ 洗濯物の安全荷重の目安は10キログラムです。



照明の使い方

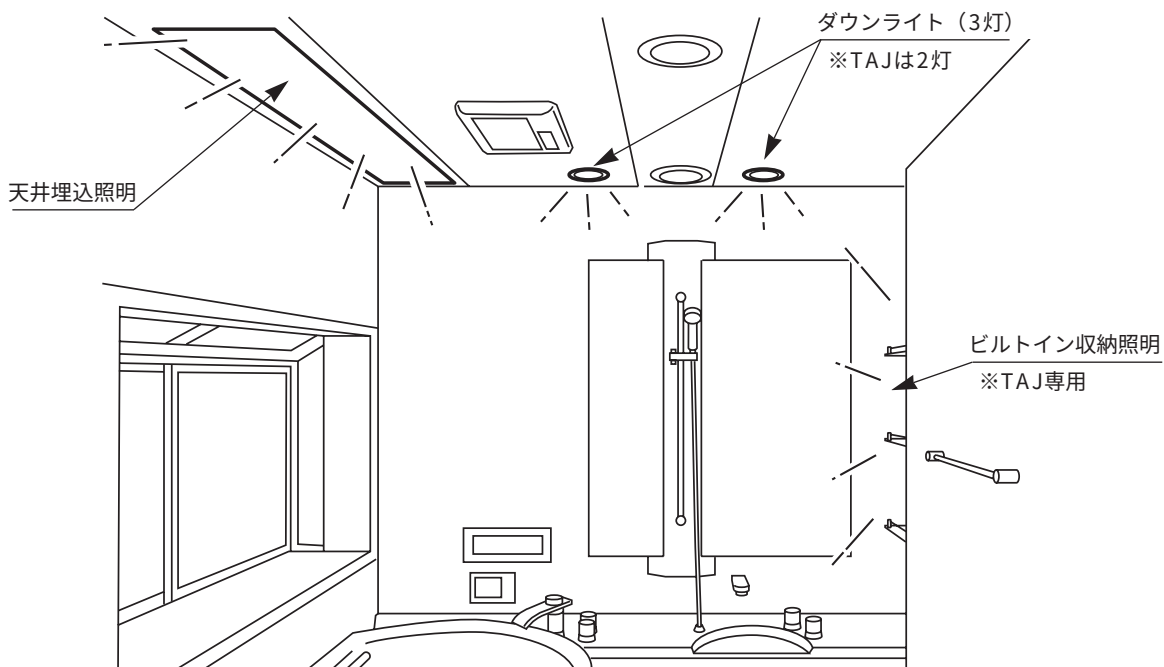
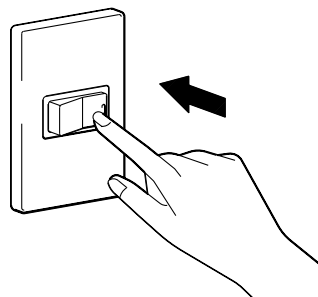
点灯したいとき

浴室外にある電源スイッチを押すと、ダウンライト・天井埋込照明・ビルトイン収納照明（TAJの場合）が全て点灯します。

ヒーリングライトのリモコンは「標準」ランプ（または「連動」ランプ）が点灯します。

- ・調光したいとき …P20参照
- ・ヒーリングライトを使いたいとき …P20参照

※調光・ヒーリングライトは、TAJ・TAJG/Uの場合の機能となります。



⚠ 注意

照明カバーは確実に取り付けた状態でご使用ください。

※落ちて、ケガをするおそれがあります。



照明カバーに硬いものをぶつけたり、たたくなどの衝撃を加えないでください。

※破損しケガをするおそれがあります。



温水式換気乾燥暖房機の使い方 (TAJ,TAJG/U標準、TAJS/Eオプション)

詳しくは温水式換気乾燥暖房機の取扱説明書をご覧ください。

温水式換気乾燥暖房機は、浴室を換気する以外に、浴室で洗濯物を乾燥させたり、浴室内の暖房を行うことができます。詳しくは温水式換気乾燥暖房機の取扱説明書をご覧ください。

また、当社以外の換気乾燥機が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、ご使用ください。

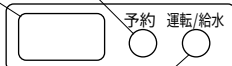
※入浴前30分から60分程度暖房運転しておくと浴室全体が暖かくなります。

各部の名称とはたらき

本体表示部

予約ランプ 予約暖房運転の待機中は橙色に点灯します。

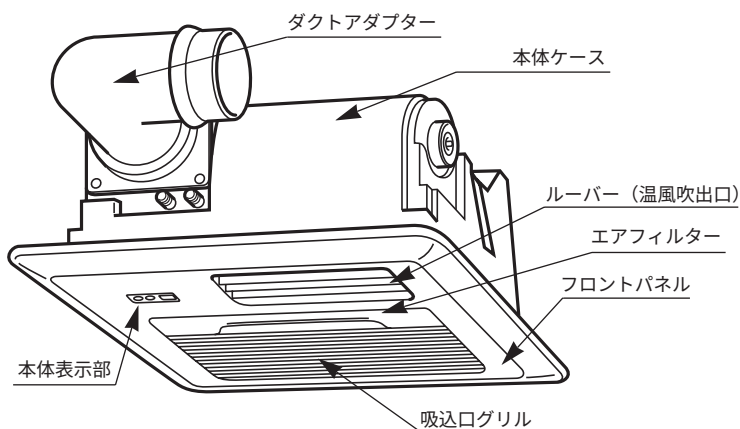
リモコン受光部



運転/給水ランプ

運転中は緑色に点灯します。
緑色点滅時：本機の異常です。
赤色点灯時：熱源機の温水異常です。
赤色点滅時：熱源機の異常です。
(上記の状態になった場合は、温水式換気乾燥暖房機の取扱説明書をご確認ください。)

・熱源機の種類によっては異常をランプで表示しない場合もあります。



運転モード表示部

※ 右のイラストは説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。

予約暖房ボタン

予約暖房時に使用します。

暖房ボタン

暖房時に使用します。

乾燥ボタン

衣類乾燥・浴室乾燥時に使用します。

温度設定ボタン

暖房運転時に温度設定を変更する時に使用します。

送信部

電池消耗表示

この表示が出たら電池を交換してください。

停止ボタン

各モードの運転停止およびエラー停止の解除に使用します。

涼風ボタン

涼風運転時に使用します。

換気ボタン

換気運転時に使用します。

時間設定ボタン

各モードの時間設定に使用します。

風向切替ボタン

風向 (ルーバー角度) を切り替える時に使用します。

リモコンくさり

万一、リモコンを落としてしまった時、破損を防止するためのくさりです。

凍結予防運転

- 気温が低くなった時の、温水配管の破損を防止するため、本機が停止中でも自動的に熱源機内蔵の温水循環ポンプを運転し、配管内に温水を循環させます。
- 冬期には、熱源機、本機とも電源を切らないでください。凍結予防運転ができなくなり機器が破損することがあります。(詳しくは、熱源機の取扱説明書をご覧ください。)

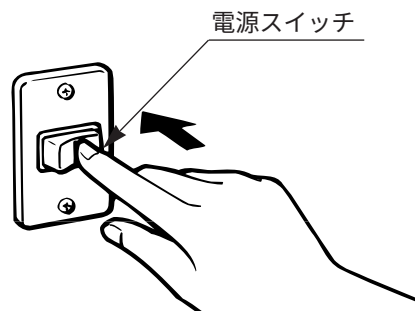
換気扇の使い方（TAJS/E標準）

詳しくは換気扇の取扱説明書をご覧ください。

浴室外にある電源スイッチを押して換気扇を操作します。
 ※換気扇を運転する場合は、窓やドアを閉めてください。
 P.8の「換気などに注意!!」を参照して、ご使用ください。

ワンポイント

浴室の耐久性を増し、換気扇を長くご使用いただくために、入浴後3時間程度換気扇を運転したり、窓を開けるなどして湿気を十分換気することをお薦めします。

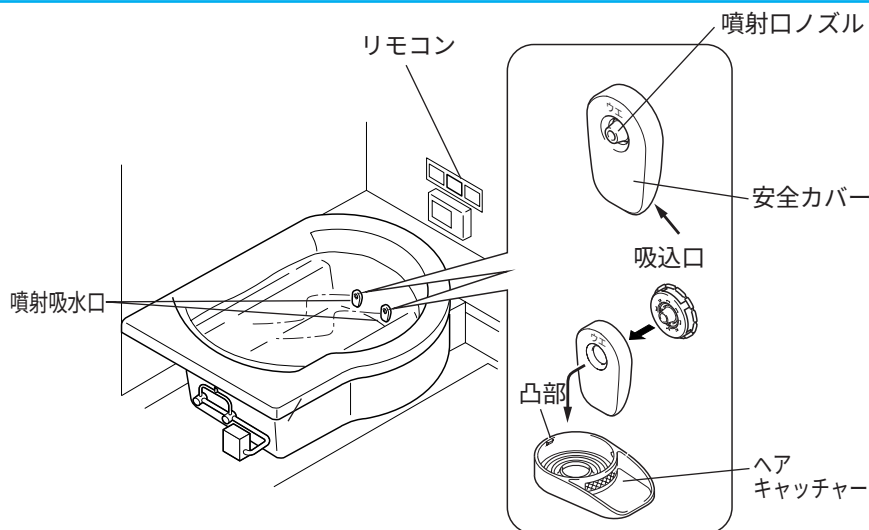


アクアジェット（4穴タイプ）の使い方（TAJ、TAJG/U専用）

詳しくはアクアジェットの取扱説明書をご覧ください。

※アクアジェットは、TAJ・TAJG/Uをご使用の場合の機能です。

各部の名称とはたらき



リモコン

	ジェット 入/切
	● 強 ● 弱 ● パルス
	● 背 ● 足

の部分を押しすることで、運転を開始します。
再度押しすと停止します。

の部分を押しすることで噴流強さが切り替わります。

の部分を押しすることで噴流位置が切り替わります。

警告

- ・安全カバーが外れたり破損したままで使用しないでください。
- ・使用するときは、吸込口や噴射口をふさがないでください。
- ・浴槽内にもぐらないでください。
- ・子供だけで入浴中の場合は、運転させないでください。

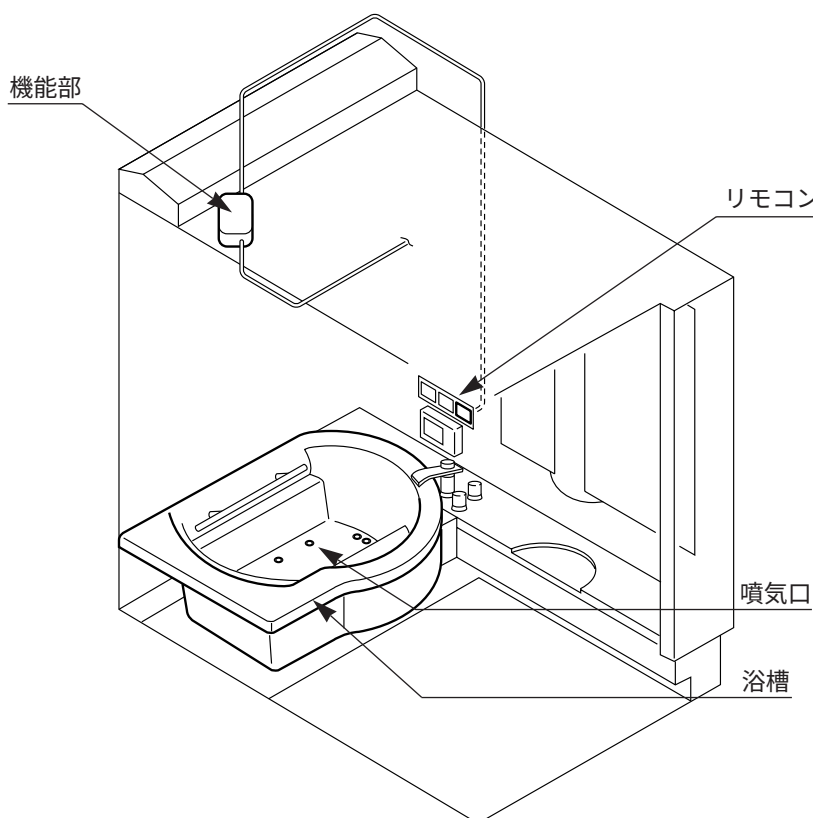
※髪や身体の一部が吸い込まれて、おぼれたりケガをするおそれがあります。

あわリズムの使い方（TAJ、TAJG/U専用）

詳しくはあわリズムの取扱説明書をご覧ください。

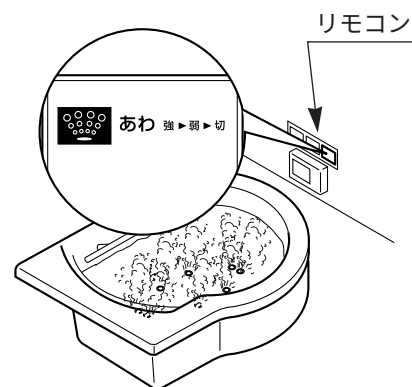
※あわリズムは、TAJ・TAJG/Uをご使用の場合の機能です。

各部の名称とはたらき



気泡の強さは、「強運転」、「弱運転」の2段階。
きめの細かい泡を発生し、全身をつつみ込みます。
「弱運転」では、さらにソフトな体感が得られます。

壁付リモコンで、運転・停止と強弱切替を
1つのボタンで行えます。

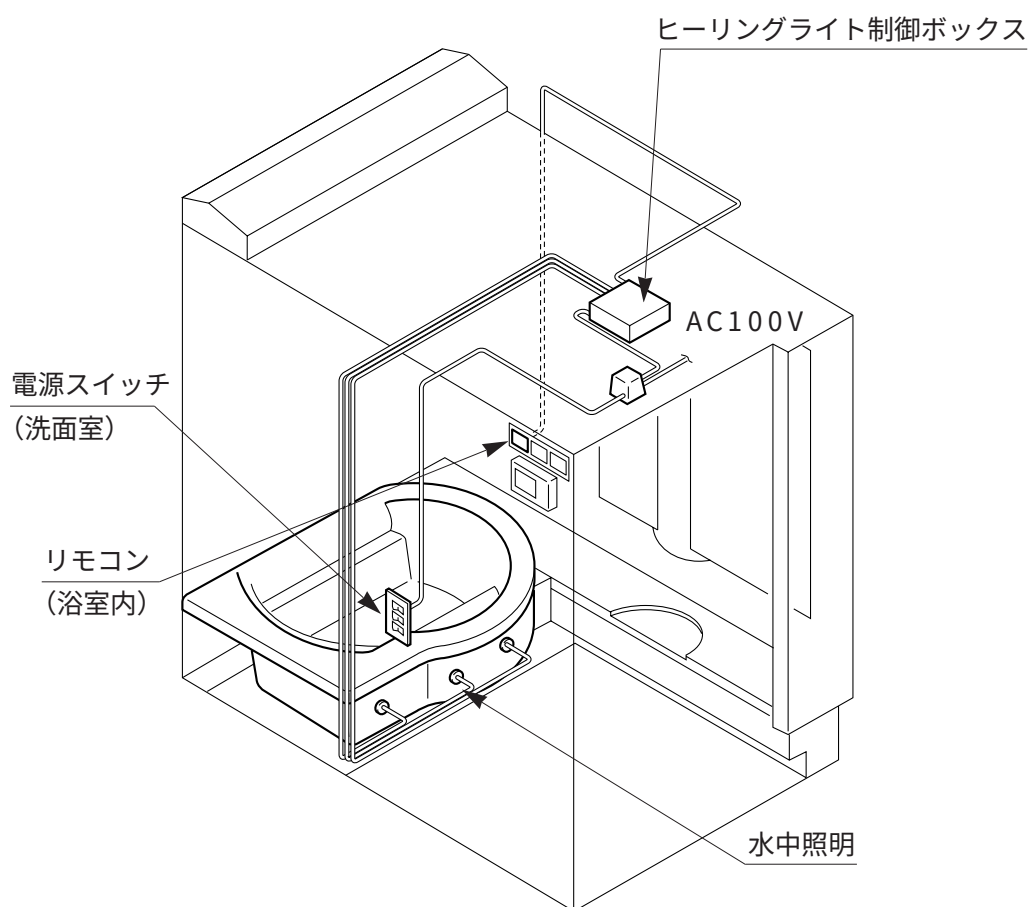


ヒーリングライトの使い方（TAJ、TAJG/U専用）

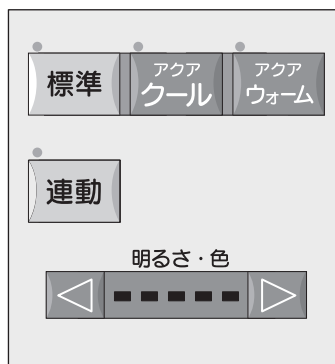
詳しくはヒーリングライトの取扱説明書をご覧ください。

※ヒーリングライトは、TAJ・TAJG/Uをご使用の場合の機能です。

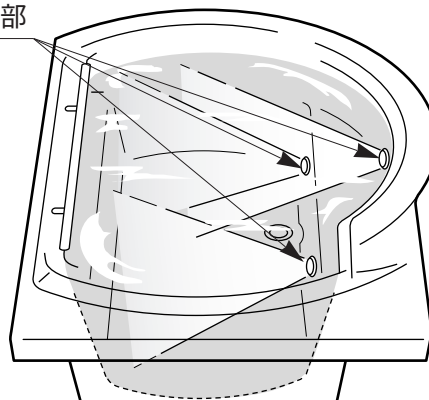
各部の名称とはたらき



リモコン



水中照明発光部



洗面室の **電源スイッチ（照明スイッチ）** を入にする。

- ・「標準」モードで立ち上がります。
- ・「標準」ランプが点灯し、ダウンライト及び天井埋込照明・ビルトイン収納照明が全て点灯します。

標準ボタン を押す。

- ・「標準」ランプが点灯し、ダウンライト及び天井埋込照明・ビルトイン収納照明が全て点灯します。

◀ボタン を押す。

- ・ダウンライトが段階的に暗くなり、（完全には消灯しません。）天井埋込照明・ビルトイン収納照明は消灯します。

※TAJG/Uの場合、ドア上のダウンライトも完全に消灯します。

▶ボタン を押す。

- ・ダウンライトが段階的に明るくなり、最大になると天井埋込照明・ビルトイン収納照明も点灯します。

※TAJG/Uの場合、最大になるとドア上のダウンライトも点灯します。

アクアクールボタン を押す。

- ・アクアクールランプが点灯し、ダウンライトがほんのり点灯します。

※天井埋込照明・ビルトイン収納照明は消灯します。

※TAJG/Uの場合、ドア上のダウンライトも完全に消灯します。

- ・水中照明が青色に点灯します。

◀ボタン を押す。

- ・水中照明が白→緑→青緑→青→白→・・・の順に変更できます。

▶ボタン を押す。

- ・水中照明が青緑→緑→白→青→青緑→・・・の順に変更できます。

アクアウォームボタン を押す。

- ・アクアウォームランプが点灯し、ダウンライトがほんのり点灯します。

※天井埋込照明・ビルトイン収納照明は消灯します。

※TAJG/Uの場合、ドア上のダウンライトも完全に消灯します。

- ・水中照明が黄色に点灯します。

◀ボタン を押す。

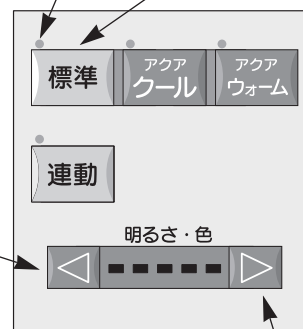
- ・水中照明が紫→赤→黄→・・・の順に変更できます。

▶ボタン を押す。

- ・水中照明が赤→紫→黄→・・・の順に変更できます。

標準ランプ

標準ボタン

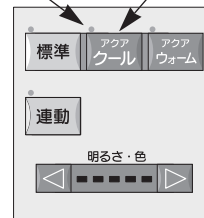


◀ボタン

▶ボタン

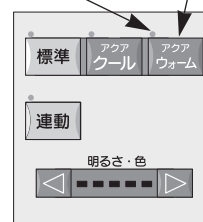
アクアクールランプ

アクアクールボタン



アクアウォームランプ

アクアウォームボタン



※ビルトイン収納照明はTAJ専用です。

連動の操作

連動機器（アクアジェット、あわリズム）がOFFの状態のとき

連動ボタンを押す。

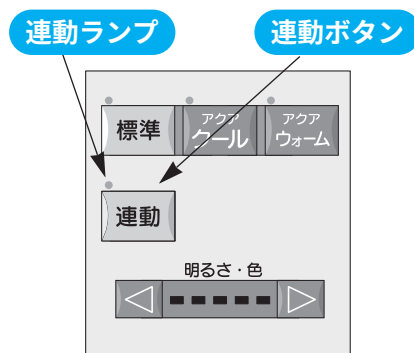
- ・「連動」ランプが点灯し、ダウンライト及び天井埋込照明・ビルトイン収納照明が全て点灯します。

連動機器（アクアジェット、あわリズム）の操作スイッチをONにすると・・・

- ・「連動」ランプは点灯したままで、ダウンライトがほんのり点灯します。
- ※天井埋込照明・ビルトイン収納照明は消灯します。
- ※TAJG/Uの場合、ドア上のダウンライトも完全に消灯します。
- ・水中照明がクール系統の色に点灯し、一定時間毎に色が変わる（自動サイクル点灯）します。

連動機器（アクアジェット、あわリズム）の操作スイッチをOFFにすると・・・

- ・「連動」ランプは点灯したままで、水中照明が消灯し、ダウンライト及び天井埋込照明・ビルトイン収納照明が全て点灯します。



＊連動モードは連動機器の電流量を検知して作動します。アクアジェットのパルスモードなど電流量の少ない場合は自動サイクル点灯が中断する事があります。

また、連動モードのまま洗面室の電源スイッチ（照明スイッチ）を入にした場合、一瞬だけ水中照明が点灯する事がありますが、これは連動機器の初期電流量変化によるもので、異常ではありません。

浴室テレビの使い方 (TAJ標準、TAJG/U/S/Eオプション)

詳しくは浴室テレビの取扱説明書をご覧ください。

各部の名称とはたらき

- 高画質・広視野角5型液晶パネルを採用。鮮明な画像と自然な色を再現します。
- 前面防水仕様の壁面取付型薄型液晶カラーテレビです。
- オートパワーオフ機能の採用で消し忘れも安心です。約2時間で自動的に電源がOFFされます。
- 製品動作保証温度0～50℃の広温度保証液晶を採用しました。

チャンネル表示

チャンネル番号の表示箇所は画面右上部に表示されます。
(電源が切れているときはチャンネル表示は出ません。)

チャンネル表示スイッチ

電源が入った後、チャンネル番号の表示・非表示を切替える際に押します。

電源スイッチ

一度押すと電源が入ります。再度押すと電源が切れます。

チャンネルスイッチ

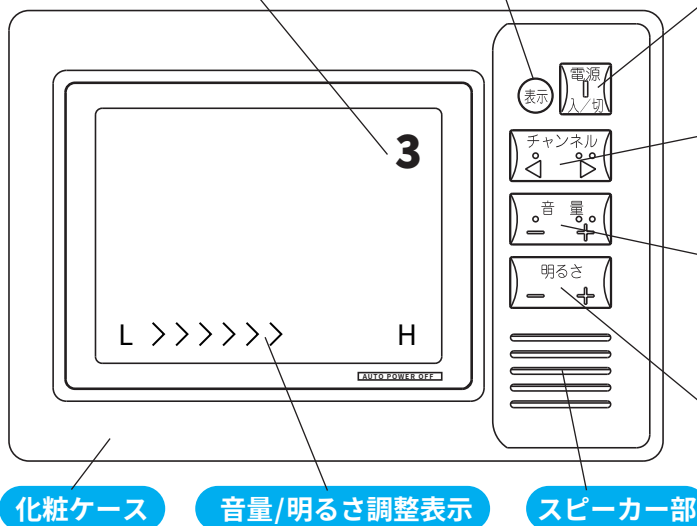
チャンネルを変えるときに押します。

音量調節スイッチ

音量を調整するときに押します。

明るさ調節スイッチ

明るさを調整するときに押します。

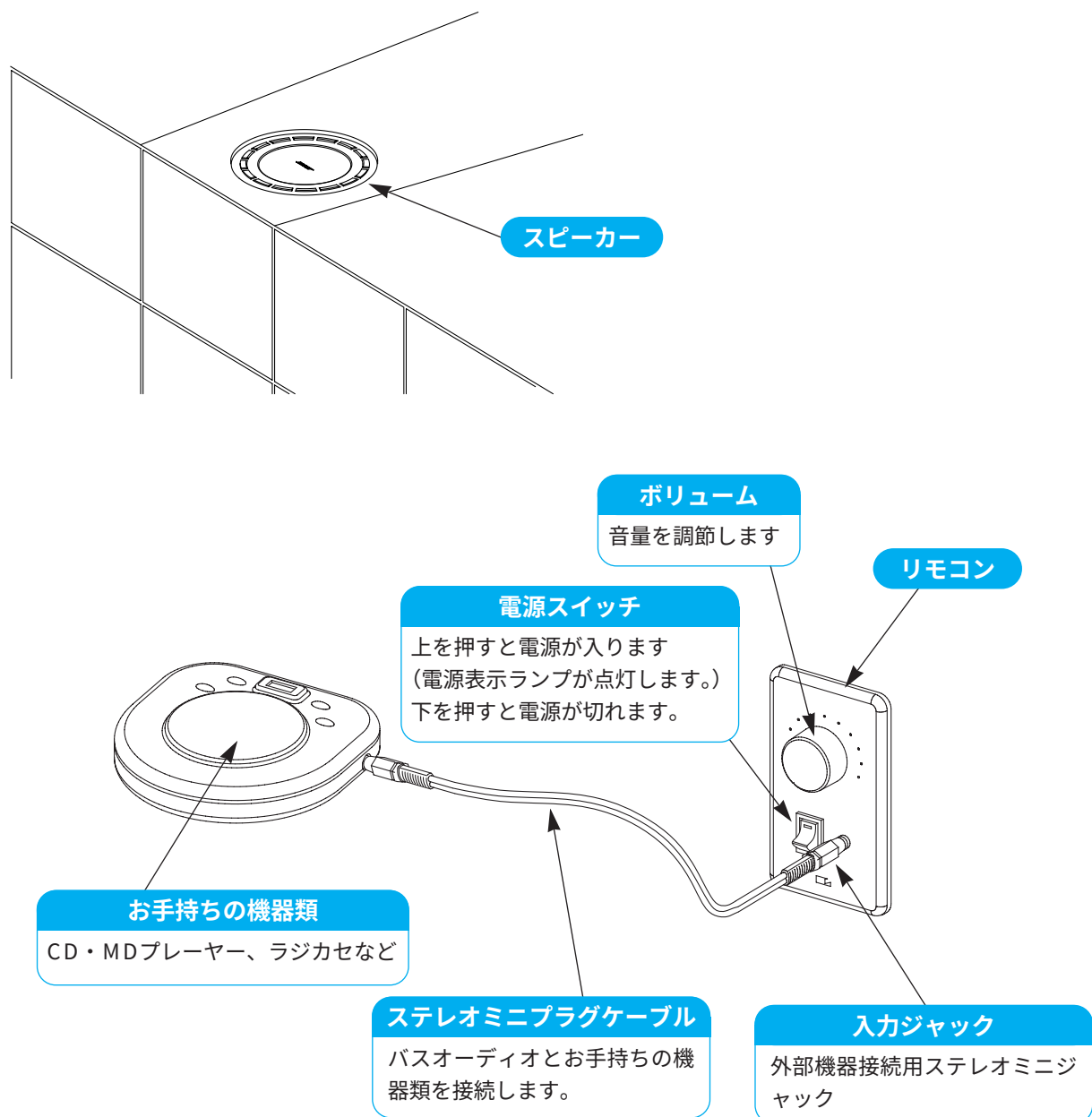


バスオーディオの使い方（TAJ標準、TAJG/U/S/Eオプション）

詳しくはバスオーディオの取扱説明書をご覧ください。

各部の名称とはたらき

- BOSE社製浴室スピーカーの採用により浴室でのクリアなサウンドを実現。入浴しながら好きな音楽をお楽しみいただけます。
- お手持ちのCD・MDプレーヤー、ラジカセなど、お好みの音源を接続するだけでご使用いただけます。

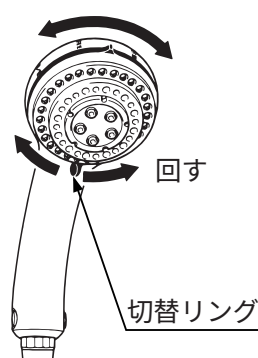
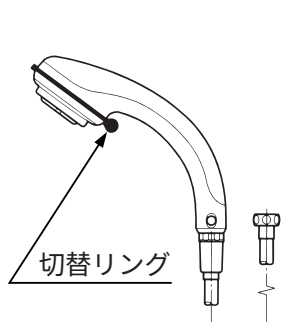


マッサージシャワーの使い方

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

各部の名称とはたらき

切替リングを回転させることにより、スプレー吐水、マイルド吐水、マッサージ吐水、泡沫吐水の4種類のシャワーを楽しむことができます。



スプレー吐水



- 細めの勢いのあるシャワー吐水。適度なマッサージ効果が得られます。

マッサージ吐水



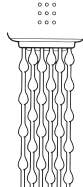
- シャワーが断続的に吐水。マッサージと同様の効果があります。

マイルド吐水



- 身体にやさしく、マイルドな感触が心地よいシャワー吐水。

泡沫吐水



- 気泡を含んだソフトで肌触りのよい泡沫状のシャワー吐水。

⚠ 注意

水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
※ 高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。

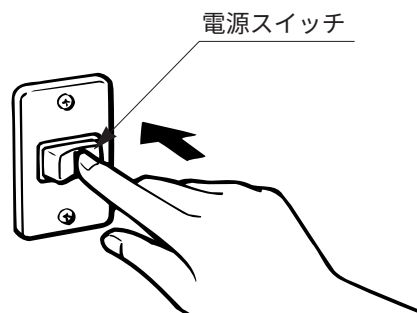


くもり止め機能付ミラーの使い方

照明と連動してくもり止めヒーターが作動します。
浴室外にある電源スイッチを押して操作します。
※消し忘れに注意してください。

ワンポイント

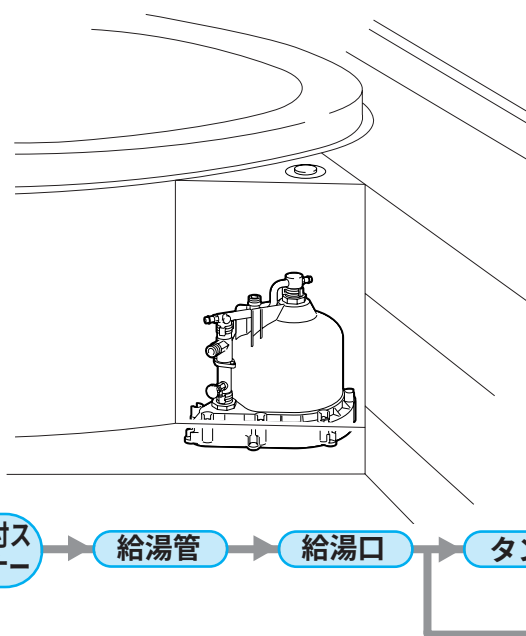
くもりを取るには、時間、季節、環境により異なりますが、約15分程度で表面のくもりがとれ、使用可能になります。



即湯システムの使い方（TAJ標準、TAJG/U/S/Eオプション）

詳しくは、即湯システムの取扱説明書をご覧ください。

各部の名称とはたらき



このシステムは、エプロン裏側に設置されたタンクに温水を貯め、水栓使用時に配管などの冷水とタンク内の温水を混合して水栓にお湯を供給することで、水栓使用初期の冷水を少なくするシステムです。

これを即湯効果といいます。これは洗い場側水栓専用の機能です。浴槽側水栓にはこの機能はありません。

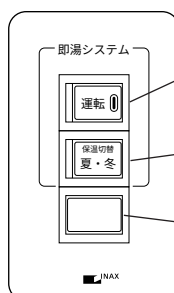
※水栓を短い間隔で使用する場合や、使用流量が多い場合には使用途中に温度低下を生じやすくなることがあります。



警告

タンクが空のときや水抜きをした後は、絶対に運転スイッチを入れないでください。

※異常に温度が上昇し、火災や破損の原因となります。



運転スイッチ
電源の入／切を行います

保温温度・切替スイッチ
夏：約70℃で保温
冬：約80℃で保温

空スイッチまたは照明用スイッチが取り付けられています。

（このスイッチは即湯システムには関係ありません。）

お手入れ方法

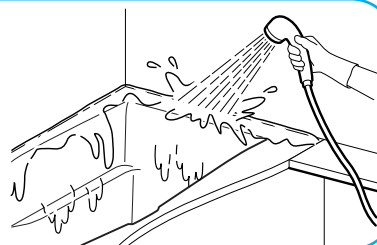
入浴後のお手入れ

浴槽と壁のすき間にシャワーで熱めのお湯をかけます。

※すき間に入ったお湯は浴槽下から排水されますので心配ありません。

※すき間が汚れている場合は毛先の長い柔らかいブラシなどで掃除してください。

※シャンプーなどの泡が壁パネルなどに残るとカビが発生しやすくなるので、シャワーで洗い流してください。



日頃のお手入れ

共通

クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは、アンモニア、苛性ソーダ、塩酸などの薬品や漂白剤は使用しないでください。漂白剤やカビ取り剤を使用する場合は、必ずその取扱説明書を読んで、正しくお使いください。

※キズ、変色などの原因になります。

また、サンドペーパーやタワシの使用も、光沢を失わせキズをつけるのでお止めください。

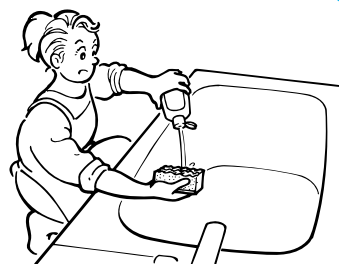


浴槽や風呂フタ・床のお手入れ

入浴後の湯を放置すると、浴槽の内面に緑青や白い汚れ（金属石鹸）が付いて落ちにくくなります。浴槽や風呂フタを長くきれいに使うため入浴後はできるだけすみやかに排水、掃除をしてください。

掃除：うすめた浴室用合成洗剤をスポンジか柔らかい布に付けて洗い、その後水でよく洗い流してください。風呂フタはよく乾燥させてください。

※クレンザーのご使用はお控えください。



ワンポイント

入浴後はすみやかに排水、掃除をされることをおすすめします。また浴槽の底にたまったゴミや鉄粉はよく洗い流してください。放置すると取れなくなる場合があります。

ドアのお手入れ

浴室用合成洗剤を柔らかい布に付けて、ふき洗いしてください。
 ドアやドアの下、ドアの周りのパッキンなど、汚れがひどい場合は、歯ブラシなどにうすめた浴室用合成洗剤を付けて洗ってください。
 洗剤で洗った後は、洗剤が残らないように、湿らせた布でよくふき取ってください。
 ドアを洗う場合に、ドアに直接水をかけないようにしてください。浴室外に水が漏れ、**家財などをぬらす原因**となります。



鏡・カウンター・窓枠のお手入れ

浴室用合成洗剤をうすめてスポンジなど柔らかいものに含ませてふいてください。
 ふいた後は湿らせた布できれいに洗剤をふきとってください。
 ※硬いものでたたいたり、ぶつかけたりしないでください。キズがつきます。
 ※カウンター周りの突起や角に注意してください。

⚠ 注意

浴槽とエプロン・カウンターのすき間に指をはさまないように注意してください。
 ※**ケガをするおそれ**があります。



週1回程度のお手入れ

水栓金具・タオル掛・スライドバーのお手入れ

水栓金具、タオル掛、スライドバーは週に1回程度、乾いた柔らかい布でふいてください。それでも落ちないときは水ぶきし、最後にからぶきしてください。

※硬いものでたたいたり、ぶついたりしないでください。

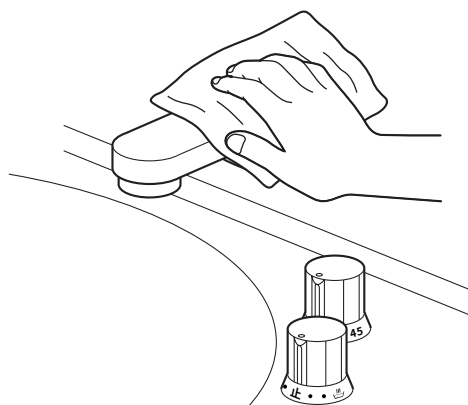
キズがついたり、メッキがはがれたりします。

※アルカリ性洗剤や酸性物が付かないようにしてください。

メッキを傷めます。

※表面を傷めるおそれのあるものは使用しないでください。

※水栓金具については各取扱説明書を参照ください。



握りバーのお手入れ

汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。汚れがひどいときは、うすめた浴室用合成洗剤をしみ込ませた布でふき、そのあと必ず水ぶきしてください。

タイルの目地

j-bath・j-bath styleの壁タイルの目地材は、汚れの付着しにくいスーパークリーン目地を採用していますが、少なくとも週1回は布またはスポンジに浴室用合成洗剤をつけて、目地部の汚れをふきとってください。

また、目地に著しくカビが発生しているときは、次亜塩素酸系の漂白剤で漂白します。次亜塩素酸系の漂白剤が入手できない場合は、市販のカビ取り剤や洗濯用、あるいはキッチン用漂白剤をお使いください。

※床にカビ取り剤などが付着すると**変色するおそれ**がありますので、シートなどで床を保護してください。

お願い

漂白剤やカビ取り剤・防カビ剤を使用する場合は、必ずその取扱説明書をよく読んで、正しくお使いください。



ワンポイント

防カビ剤を塗布しますと、カビの発生が少なくお手入れが楽になります。

収納棚のお手入れ

収納棚は、週に1度は乾いた柔らかい布でふいてください。それでも落ちないときは水ぶきし、最後に空ぶきしてください。

※硬いものでたたいたり、ぶついたりしないでください。キズがついたり、メッキがはがれたりします。

※アルカリ性洗剤や酸性物が付かないようにしてください。メッキを傷めます。

※表面を傷めるおそれのあるものは、使用しないでください。

※マニキュア除光液などの化粧品が付着した場合は、すぐにふきとってください。棚板表面が白濁するおそれがあります。

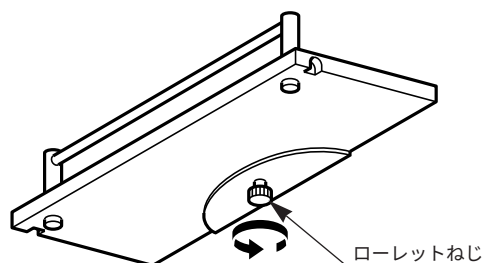
●収納棚板の外しかた

〈ビルトイン収納棚〉

棚板裏面のローレットねじをゆるめると棚板が外れます。

※ローレットねじが固くて回しづらい場合はマイナスドライバーを用いてゆるめてください。

棚板を取り付けるときは、取付金具の奥まで棚板をはめこみ、ゆっくりとローレットねじを締め付けてください。

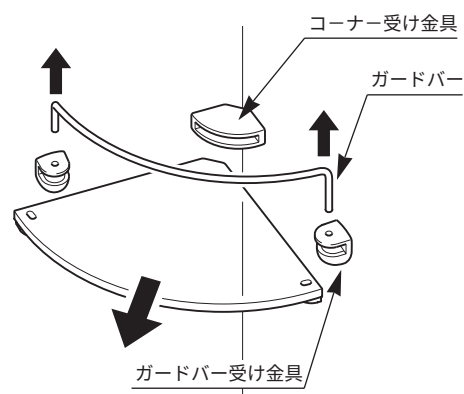


〈高級コーナー棚〉

棚板に差し込んであるガードバーを引き抜き、受け金具から棚板を抜き取ります。

棚板を取り付けるときは、コーナー受け金具の奥まで棚板をはめ込み、棚板とガードバー受け金具の穴を合わせて、ガードバーを差し込んでください。

※取付後、棚板および受け金具にガタつきがないかを確認してください。



⚠ 注意

棚板のお手入れの際は棚板の落下にご注意ください。
また、お手入れ後は棚板が確実に取り付けられていることをご確認ください。
※棚板が落下しケガをするおそれがあります。



浴槽への自動湯張り・追いだき機能の給湯口のお手入れ

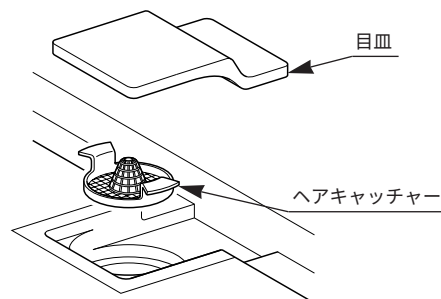
自動湯張り・追いだき機能の給湯口は給湯機器の機能ですので、別途、各機器の取扱説明書を参照ください。

床排水トラップのお手入れ

目皿とヘアキャッチャーを取り外し、ヘアキャッチャーや排水トラップ周辺のゴミを取り除いてください。

※ ゴミなどは週に1度は取り除いてください。

取り除いたゴミなどは直接流さないでください。排水管の詰まりの原因となります。



浴槽排水口のお手入れ

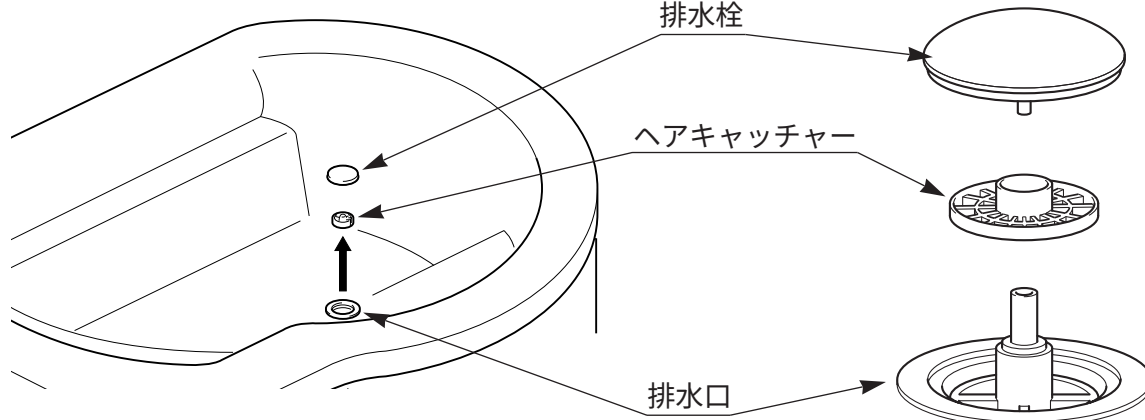
排水口のゴミなどは、週に1度は取り除いてください。

1

排水栓を上引っ張って取り外します。

2

排水口からヘアキャッチャーを取り外します。



3

ヘアキャッチャーについているゴミを取り除いてください。

※取り除いたゴミなどは、直接流さないでください。排水管の詰まりの原因となります。

4

ヘアキャッチャーを排水口に取り付けます。

5

排水栓を排水口に取り付けます。

※カチンというまではめ込んでください。

6

プッシュボタンを押して排水栓の開閉を確認してください。

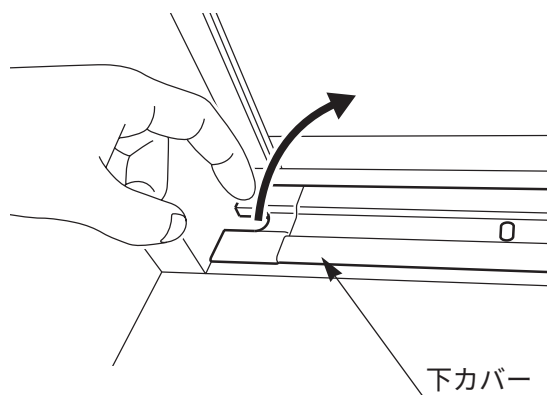
※排水栓の上に乗ったり、無理な荷重をかけないでください。排水栓が破損し漏水の原因となります。

月1度のお手入れ

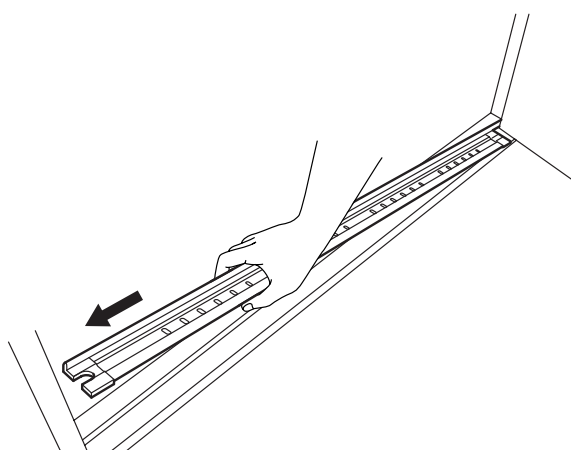
開き戸・親子開き戸の排水溝のお手入れ

下カバーの外し方

- ① 下カバーの穴に指を掛けて、下カバーを上を持ち上げてください。



- ② 下カバーを持ち上げたままで、下カバーを横にスライドさせてください。



- ③ 下カバーを取り外した後、そうじしてください。

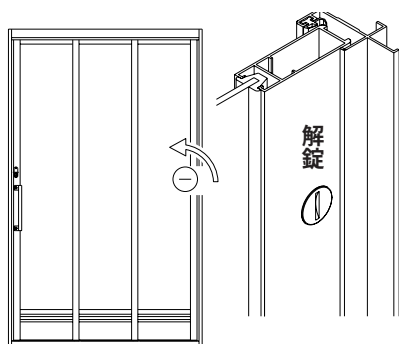
- ④ ドア枠のゴミを取り除いてください。

- ⑤ お手入れの後は、取外しと逆の手順で取り付けます。
※取り除いたゴミなどは、直接流さないでください。排水管の詰まりの原因になります。

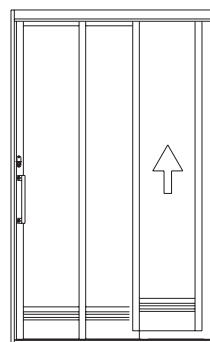
3枚引き戸の排水溝のお手入れ

下カバーの外し方

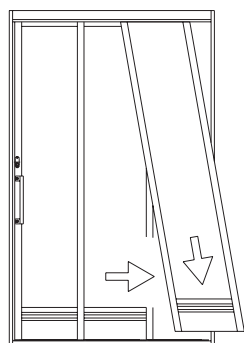
- 1 固定側障子のロックをマイナスドライバーなどで解錠します。



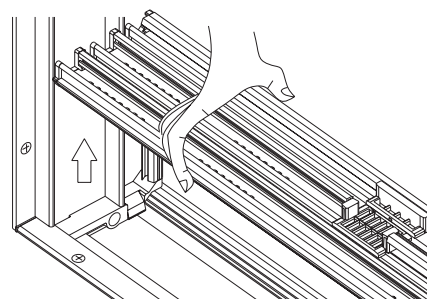
- 2 障子を持ち上げます。



- 3 下部を手前に引きながらおろすと障子が外れます。この手順で障子を全て外してください。



- 4 下レールをつまみ、持ち上げて外します。



- 5 レールやドア枠のゴミを取り除いてください。

- 6 お手入れの後は、取外しと逆の手順で取り付けます。
※下レールは「カチッ」と音がするまで確実に取り付けてください。
※取り除いたゴミなどは、直接流さないでください。
排水管の詰まりの原因になります。

念入りなお手入れ

壁パネル・天井・照明カバーのお手入れ

浴室用合成洗剤をうすめてスポンジなど柔らかいものに含ませてふいてください。ふいた後は湿らせた布できれいに洗剤をふきとってください。

※ 硬いものでたたいたり、ぶついたりしないでください。キズがつきます。



ワンポイント

入浴後に壁パネルなどに付着した泡などをシャワーで洗い流して、よく乾燥させるとカビが発生しにくくなります。

バスタブ下側のお手入れ

エプロン下のけこみカバーを取り外し、シャワーで防水パンの汚れを洗い流してください。

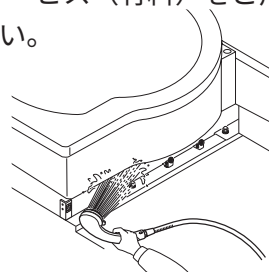
※ けこみカバーの取外しについてはP.42の「エプロン下けこみカバーの取付け・取外し」を参照してください。

浴槽下の清掃につきましては（株）INAXメンテナンスにて清掃サービス（有料）をご用意しておりますので、P.57をご参照のうえお気軽にお申し込みください。

⚠ 注意

お手入れの際に浴槽の下やエプロンの裏側に手を入れないでください。

※ ケガをするおそれがあります。



くもり止め機能付ミラーのお手入れ

⚠ 警告

分解や改造をしないでください。
※ 感電や漏電、火災の原因となります。



自家修理や移設を行わないでください。
※ 感電や漏電、火災の原因となります。



使用しないで

洗剤、洗浄剤を直接ふりかけないでください。
強酸性、強アルカリ性の液（トイレ洗浄剤、カビ取り剤など）は使用しないでください。

※ ヒーター各部を損傷し、故障や劣化の原因となります。



⚠ 注意

鏡の周囲をおそうじする際、必要以上に強い力を加えないでください。

※ ケガをするおそれがあります。

換気扇、温水式換気乾燥暖房機のお手入れ

警告

火事・ケガについての警告

修理技術者以外の方は、換気扇のフロントカバー以外は絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり異常動作してケガをするおそれがあります。



感電・ケガについての警告

暖房機や換気扇のお手入れは必ず電源を切ってから行ってください。
※感電やケガをするおそれがあります。



注意

故障・漏電に注意

暖房機や換気扇に水をかけないでください。
※故障や漏電するおそれがあります。



ヤケドに注意

暖房機の場合、運転停止後はすぐにルーバーなど本体にふれないでください。
※ヤケドをするおそれがあります。



ケガに注意

高い所での作業になります。ホコリの落下と足場には十分にご注意ください。浴槽やカウンターの上ののって作業をしないでください。
※ケガをするおそれがあります。



ルーバーやエアフィルターは確実に取り付けてください。
※落ちてケガをするおそれがあります。



ゴム手袋を使ってお手入れしてください。
※ケガをするおそれがあります。



クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは塩酸などの薬品や漂白剤は使用しないでください。

※キズ、変色などの原因になります。

また、サンドペーパーやタワシの使用も、光沢を失わせキズをつけるのでお止めください。



長くお使いいただくために

アクアジェット・あわりズム・ヒーリングライトは各取扱説明書をご覧ください。

シャワーや吐水口からの水量が少なくなったと感じたら

ストレーナーのお手入れ

ストレーナーなどのゴミ詰まりは機能を低下させます。ときどき次の要領で掃除してください。

逆止弁のストレーナー掃除

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

※けこみカバーの取付け・取外しはP.38の「カウンター下けこみカバーの取付け・取外し」をご覧ください。

⚠ 注意

ストレーナーを掃除する際、配管、カウンター、取付金具に注意してください。
※ケガをするおそれがあります。



1

カウンター下面のけこみカバーを取り外します。

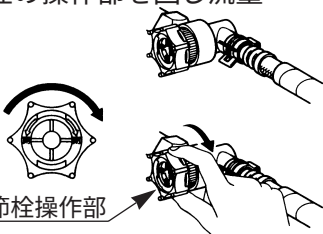
取外しおよび取付けはP.38の「カウンター下けこみカバーの取付け・取外し」をご覧ください。

2

手で流量調節栓の操作部を回し流量調節栓を閉じます。(時計回りいっぱいに戻します)

流量調節栓操作部

※流量調節栓は湯側(赤)と水側(青)の両方を閉じてください。
※流量調節栓の位置を覚えておいてください。

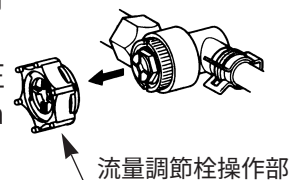


3

流量調節栓の操作部を外します。

※操作部は流量調節栓を完全に閉じた状態ではないと取外し、取付けできません。

※流量調節栓の耐圧性能は0.75 MPaです。



長くお使いいただくために

4

シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側で全開にします。

※水栓内部の圧力を抜くとともに、流量調節栓により止水していることを確認してください。

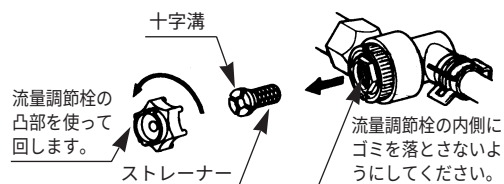
※確認後、ハンドルを「止」の位置に戻します。



5

ストレーナーを取り外し、ゴミなどを洗い流します。
※ストレーナーは湯側と水側の両方に付いています。

湯水両方のストレーナーのゴミなどを取り除き、水洗いしてください。



6

取付けは逆の手順で行い、流量調節栓は元の位置（②で覚えておいた位置）まで開きます。

7

カウンター下面のけこみカバーを取り付けます。

取付け方はP.38の「カウンター下けこみカバーの取付け・取外し」をご覧ください。

⚠ 注意

カウンター前板の下側にあるカバーは取り外さないでください。

※ケガをするおそれがあります。

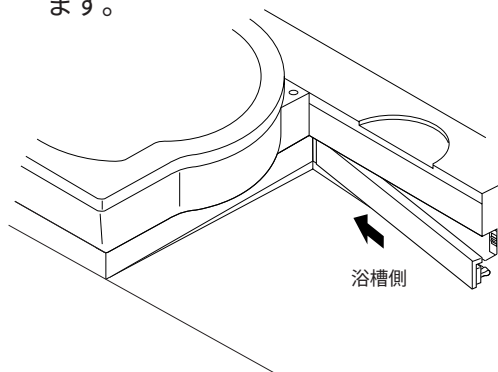


カウンター下けこみカバーの取付け・取外し

●取付け方

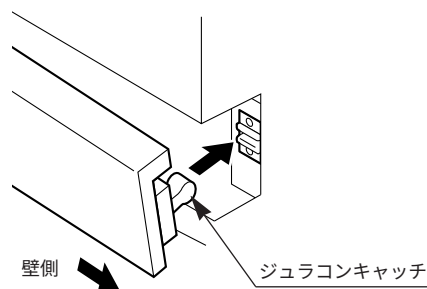
1

けこみカバーの浴槽側の端をさし込みます。



2

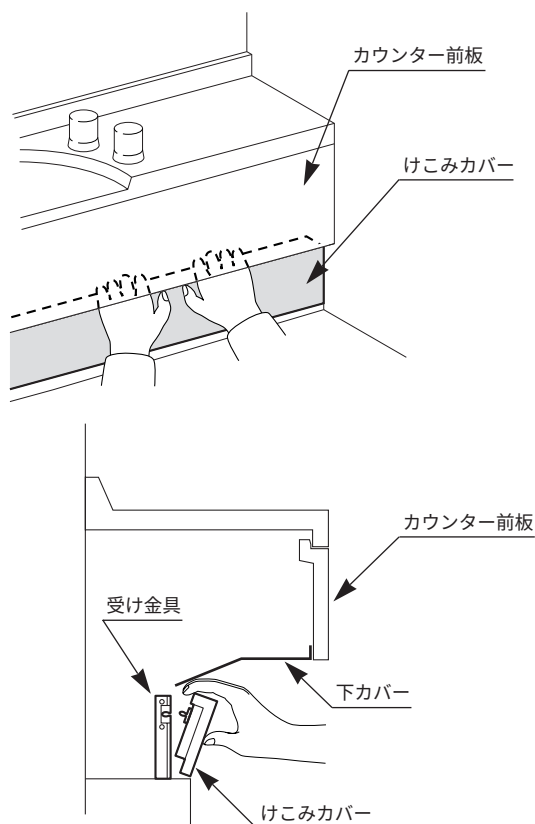
けこみカバーを壁側いっぱいにして、壁側についているジュラコンキャッチを受け金具にはめ込みます。



●取外し方

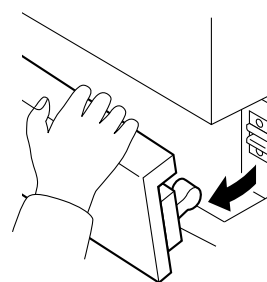
1

カウンター前板の下から手を入れ、けこみカバーをつかみます。



2

けこみカバーの壁側を手前に引っ張り、ジュラコンキャッチを取り外します。



⚠ 注意

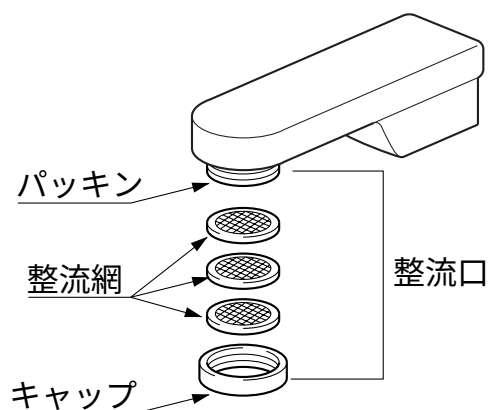
カウンター前板の下側にあるカバーは取り外さないでください。
※ケガをするおそれがあります。



整流口のお手入れ

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

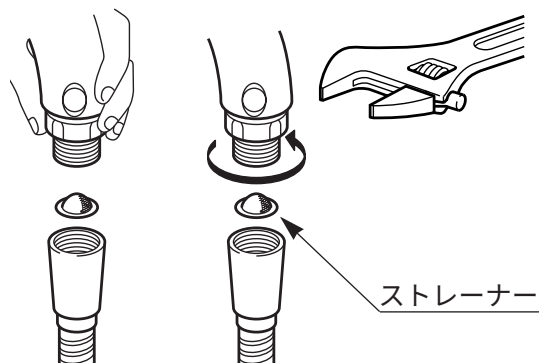
手でキャップを回して整流口を取り外し、整流網のゴミなどを取り除き、水洗いしてください。



シャワーのストレーナー掃除

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

シャワーヘッドを外してストレーナーを取り外し、ゴミなどを取り除き、水洗いしてください。



※簡単に外れないときは、モンキーレンチなどの工具を使用してください。工具を使用する場合は、シャワーヘッドにキズをつけないように注意して行ってください。

※浴槽側水栓のストレーナーの掃除については、(株) INAXメンテナンスにご相談ください。
詳しくはP.56をご覧ください。

即湯システムのストレーナー掃除

配管内のゴミがタンク内部にたまるのを防ぐためにストレーナーを装備しています。ストレーナーにゴミが詰まるとお湯の出が悪くなることがありますので、1年に1回以上の頻度でお手入れしてください。

1

タンク内の高温水を排出する

1. 即湯システムと給湯機器のスイッチを「切」にして運転を停止させます。
2. 洗い場側水栓のサーモ設定を40℃以上として、湯を吐出させます。
3. 水栓から吐出される湯の温度が給水温度（5℃～25℃程度）まで下がったことを確認し、水栓を閉じます。



ワンポイント

この操作により即湯システム内の高温水を水に置き換えます。

2

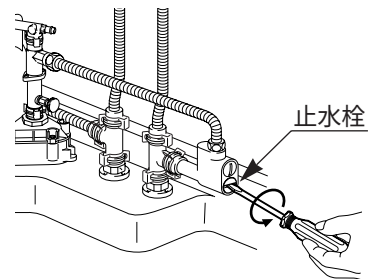
けこみカバーを外す

エプロン下のけこみカバーを取り外します。
取外し方はP.42の「エプロン下けこみカバーの取付け・取外し」をご覧ください。

3

止水栓を閉じる

止水栓を、マイナスドライバーを使用して閉じます。



注意

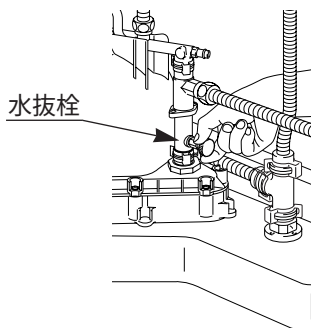
配管が熱くなっている場合がありますので、配管に触れないように十分に注意してください。

※ヤケドをするおそれがあります。

4

水抜栓を開く

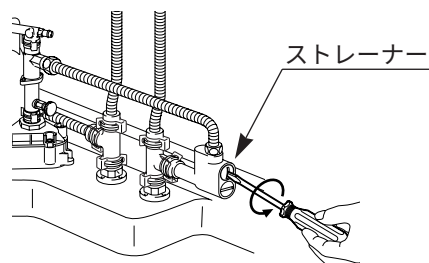
水抜栓を約5秒間開きます。



5

ストレーナーを外す

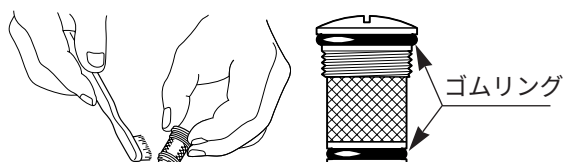
ストレーナーを、マイナスドライバーを使用して取り出します。



6

ゴミを取り除く

ストレーナーのゴミを、歯ブラシなどで注意して取り除きます。



※ ゴムリングを傷つけないようにしてください。
漏水の原因になります。

7

取外しと逆の手順で取り付けます

1. 水抜栓から排水されていないことを確認して、水抜栓を閉じます。
2. 取り外したストレーナーを取り付けます。
3. 止水栓を開きます。
4. けこみカバーを取り付けます。取付け方はP.42の「エプロン下けこみカバーの取付け・取外し」をご覧ください。

⚠ 注意

けこみカバーを取り付けるときは、アクアジェットなどの他の機器に衝撃をくわえないようご注意ください。

※破損して、ケガをするおそれがあります。

8

再運転する

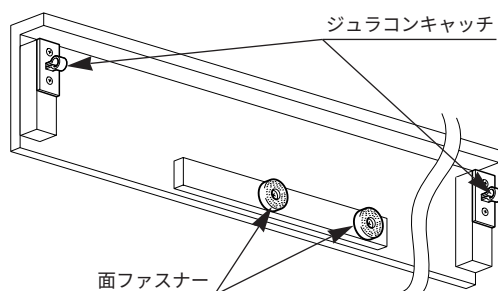
即湯システムを運転して、正しく作動するか確認します。運転のしかたについては即湯システムの取扱説明書を参照してください。

エプロン下けこみカバーの取付け・取外し

●取付け方

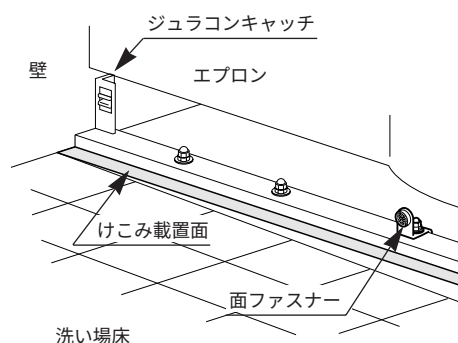
1

けこみカバー両端のジュラコンキャッチと中央下部の面ファスナーの位置を確認してください。



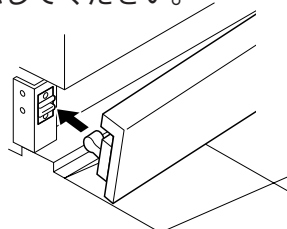
2

けこみカバーをエプロン下のけこみ載置面にのせて、壁側いっばいに寄せます。



3

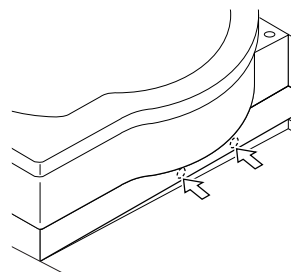
壁側のジュラコンキャッチをはめ込みます。「カチン」と音がしてはまることを確認してください。



同様にして、カウンター側のジュラコンキャッチをはめ込みます。

4

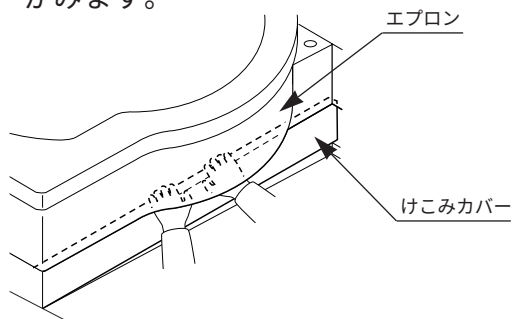
①で確認した中央下部の面ファスナーを押し、面ファスナーを取り付けます。



●取外し方

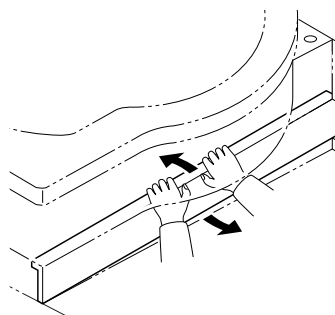
1

エプロン中央の出っ張りの下に手を入れ、けこみカバーの上部をつかみます。



2

けこみカバー上部を奥に倒すように押し、外れます。



照明用ランプの交換

電源スイッチを入れても照明がつかない場合はランプが切れていることが考えられます。

電源スイッチを切って、次の要領で交換してください。

交換しても照明がつかない場合は、お求めの販売店へご連絡ください。



警告

感電・ケガについての警告

ランプの交換は必ず電源スイッチを切ってからおこなってください。

※ 感電やショートするおそれがあります。



ぬれた手で交換作業をしないでください。

※ 感電やケガをするおそれがあります。



感電・火災についての警告

ランプの交換以外の照明器具の分解、改造は絶対におこなわないでください。

※ 感電や火災、ショート、故障の原因になります。



注意

故障・漏電に注意

照明カバーを外した状態で照明器具に直接水をかけないでください。

※ 故障や漏電をするおそれがあります。



ランプは必ず指定された種類、ワット数のものをご使用ください。

※ 故障するおそれがあります。



ランプおよびゴムパッキン、キャップなどソケットの部品は確実に取り付けてください。

※ 感電、ケガ、故障、動作不良の原因となります。



ケガに注意

ランプの交換は高いところでの作業になります。足場に十分ご注意ください。

浴槽の上ののって作業をしないでください。

※ ケガをするおそれがあります。



照明カバーは確実に取り付けてください。

※ 落下してケガをするおそれがあります。



ヤケドに注意

ランプが切れてもすぐに交換しないでください。

※ 器具やランプが熱くなっており、ヤケドをするおそれがあります。



ダウンライトの交換

①照明の電源スイッチを切ります。

②照明カバーを引き下げ、ばねを
せばめながら取り外します。

③ランプを取り外し、新しいもの
と交換します。

※スイッチを切って間もない
うちはランプが熱くなって
いますので、冷ましてから
交換してください。

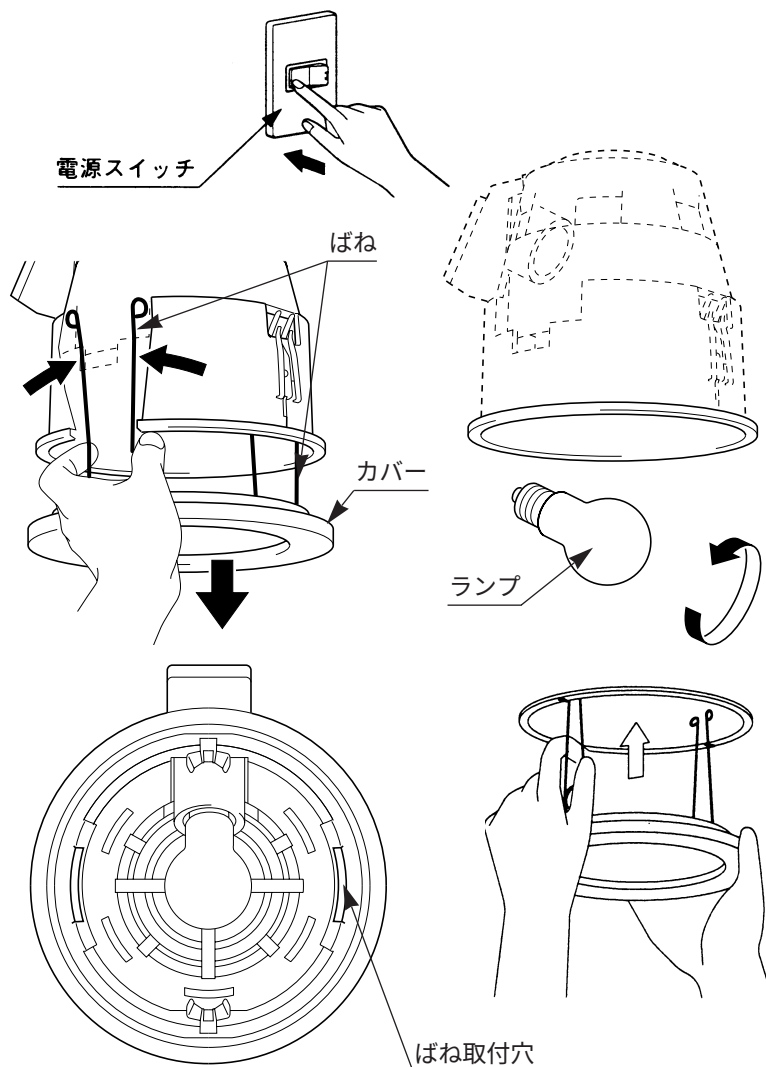
④カバーのばねをせばめながら、
照明内のばね取付穴に差し込
み、カバーを上方に押し上げ
て固定します。

⑤照明スイッチをONにして点灯
することを確認してください。

⚠ 注意

固定クリップのツマミ部
分が本体内側にあります
ので注意してください。

固定クリップの位置は動
かさないでください。
※本体が天井から外れる
おそれがあります。



適合ランプについて

●適合ランプ

ミニクリプトン電球 60Wまで (E17口金)

●おすすめ交換ランプ

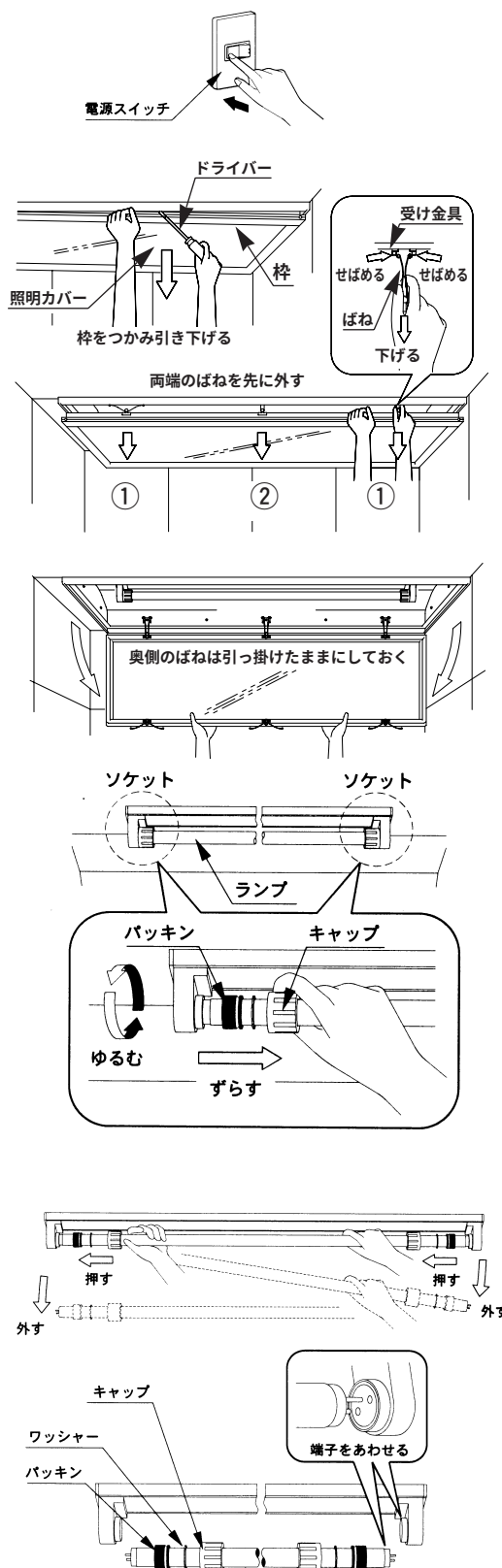
KR100/110V57W/W

- ・適合ランプをご確認のうえ、正しいランプと交換してください。
- ・指定以外のランプは使用できません。
- ・調光機能があります。電球形蛍光ランプは使用できません。また、調光器具対応の電球形蛍光ランプも使用できません。

蛍光灯の交換

●天井埋込照明の場合

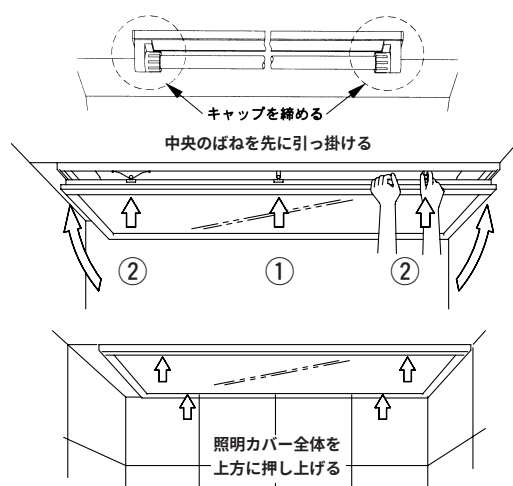
- ①照明の電源スイッチを切ります。
- ②照明カバー全体を引き下げます。
このとき、マイナス（-）ドライバーで枠の周囲をこじると枠がつかみ易くなります。
- ③照明カバーを吊り下げているばねを外します。
ばねは手前側に2ヶ所または3ヶ所あります。
3ヶ所ある場合は**両端のばねを先に外します**。
- ④ばねの両端をせばめて下方に引き下げ、受け金具から外します。
- ⑤手前側のばねをすべて外し、両手で照明カバー全体を支えながらゆっくり下げます。
このとき奥側のばねは引っ掛けたままにしておきます。
- ⑥ランプ両端のソケットについているキャップをゆるめ、中のパッキンをずらします。
- ⑦ランプを片側のソケットに押しつけながら外します。
- ⑧キャップ、ワッシャー、パッキンを外し新しいランプに取り付け、外し方と逆の手順でソケットに取り付けます。
ランプとソケットの端子をきちんとあわせてください。



- ⑨ パッキンを両端にずらし、キャップを締めます。

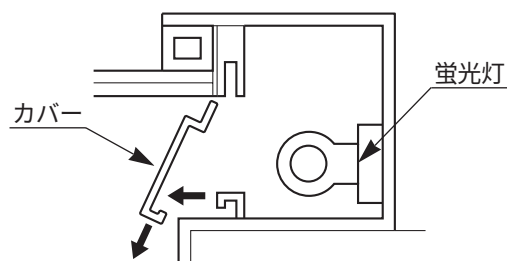
- ⑩ 照明カバーを持ち上げながら、ばねを固定します。ばねが3ヶ所ある場合は**中央のばねを先に引っ掛けます**。

ばねは取外しと逆の手順で、両端をせばめながら受け金具に引っ掛けます。



●ビルトイン収納照明の場合（TAJ専用）

- ① 照明の電源スイッチを切ります。
- ② 棚板を全て取り外します。
※棚板の外し方についてはP.30をご参照ください。
- ③ 中段の棚板部にある指かけに指を入れ、上側のカバーを手前に引き抜いてください。



- ④ 同様に下側のカバーを外し、蛍光灯の交換を行ってください。
※蛍光灯の交換については、P.45をご参照ください。

- ⑤ 取外しと逆の手順で上下のカバーを取り付け、棚板を取り付けます。

適合ランプについて

●天井埋込照明およびビルトイン収納照明（各1灯ずつ）

適合ランプ

直管・ラピッドスタート形、管径φ32.5mm

FLR40S/M

を使用してください。

推奨する光源色：白色、電球色

・照明器具に表記してある適合ランプをご確認のうえ、正しいランプと交換してください。

※スタータ形蛍光灯（品番：FL40SS/）はご使用になれません。

冬期凍結の恐れがある場合

ア쿠アジェット・あわりズム・温水式換気乾燥暖房機については、各取扱説明書をご覧ください。

積雪の多い地域だけでなく、暖かい地域でも思いもよらぬほどの冷え込みで凍結事故が発生することがあります。

凍結するおそれがある場合は、次のいずれかを行ってください。

1) 即湯システムの運転スイッチを「入」のままにしておく。

※運転スイッチを「切」とする場合は、水抜きを行ってください。

※室温が0℃以下になるところで、運転スイッチを「切」にすると凍結し、破損、漏水することがあります。

※停電にご注意ください。長時間放置されますと凍結し、破損、漏水することがあります。

2) 水栓金具の水抜きを行う場合は、即湯システムについても水抜きを実施します。

「水抜き方法」については以下に記載します。

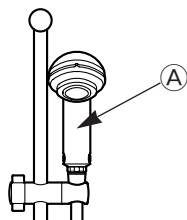
洗い場側水栓の水抜き(寒冷地仕様の場合)

詳しくは、水栓の取扱説明書をご覧ください。

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

1

スライドバーのフックを高い位置に設定し、シャワーヘッド①を掛け、水栓のハンドルをシャワーに切り替えます。

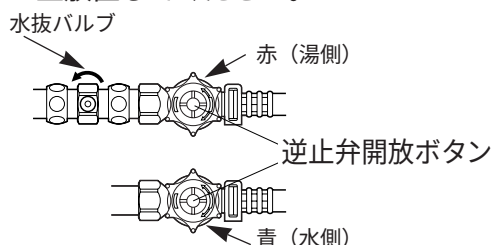


2

ユニット外部の元配管の水抜き栓を操作する。

3

けこみカバーを開け、湯側（赤）の逆止弁横の水抜きバルブをゆるめた後逆止弁開放ボタン(2ヶ)を押し、1分以上放置してください。

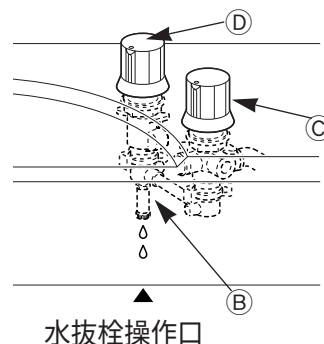


※ けこみカバーの着脱方法はP.38の「カウンター下けこみカバーの取付け・取外し」を参照してください。

4

本体の水抜き栓②を開ける。

※水抜き栓は、温調ハンドル④の真下にある水抜き栓操作口より手を入れて水抜き栓のねじをゆるめて開けてください。



5

切替ハンドル ㉔ を吐水口側に
回す。

6

温調ハンドル ㉕ を数回水側（青色）
いっぱいから「45」側まで回す。

7

シャワーヘッド ㉖ を振って十分に
水をきり、床に置きます。

※再通水前には水抜栓 ㉗ を閉じて、温調ハンドル ㉕ を40℃以下に戻してください。

即湯システムの水抜きと再通水方法

1

タンク内の高温水を排出する

1. 即湯システムと給湯機器の運転を停止させます。
2. 洗い場側水栓のサーモ設定を40℃以上として、湯を吐出させます。
3. 水栓から吐出される湯の温度が給水温度（5℃～25℃程度）まで下がったことを確認し、水栓を閉じます。



ワンポイント

この操作により即湯システム内の高温水を水に置き換えます。

2

けこみカバーを外す

エプロン下のけこみカバーを取り外します。取外し方はP.42の「エプロン下けこみカバーの取付け・取外し」を参照してください。

4

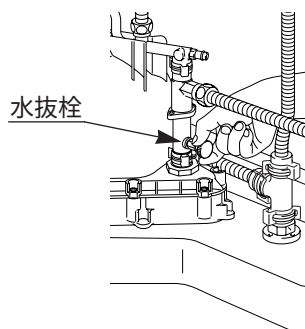
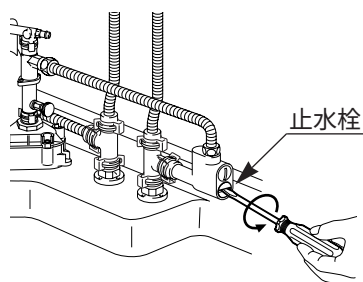
タンク内から排水する

水抜栓を開きます。

3

止水栓を閉じる

止水栓を、マイナスドライバーを使用して閉じます。



注意

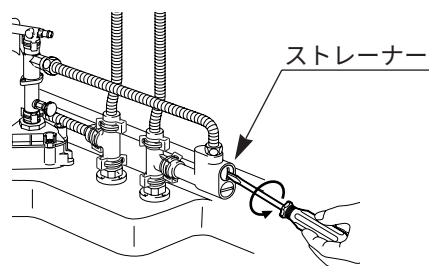
配管が熱くなっている場合がありますので、配管に触れないように十分に注意してください。

※ヤケドをするおそれがあります。

5

ストレーナーを取り外す

ストレーナーを、マイナスドライバーを使用して取り出します。



6

タンク配管内から完全に排水する

カウンター下けこみカバーを開け、湯側（赤）の逆止弁横の水抜バルブをゆるめます。

※水抜バルブの操作についてはP.47の「洗い場側水栓の水抜き」③をご参照ください。

※けこみカバーの取外し方はP.38の「カウンター下けこみカバーの取付け・取外し」をご参照ください。



ワンポイント

排水には20分程度必要です

7

ストレーナーを取り付ける

1. 水抜栓から排水されていないことを確認して、即湯システムの水抜栓とカウンター下の水抜バルブを閉じます。
2. 取り外したストレーナーを取り付けます。
3. 止水栓を開きます。
4. エプロン下およびカウンター下のけこみカバーを取り付けます。

8

再運転する

即湯システムを運転して、正しく作動するか確認します。

即湯システムの取扱説明書を参照して、タンク内に給水した状態で運転してください。



警告

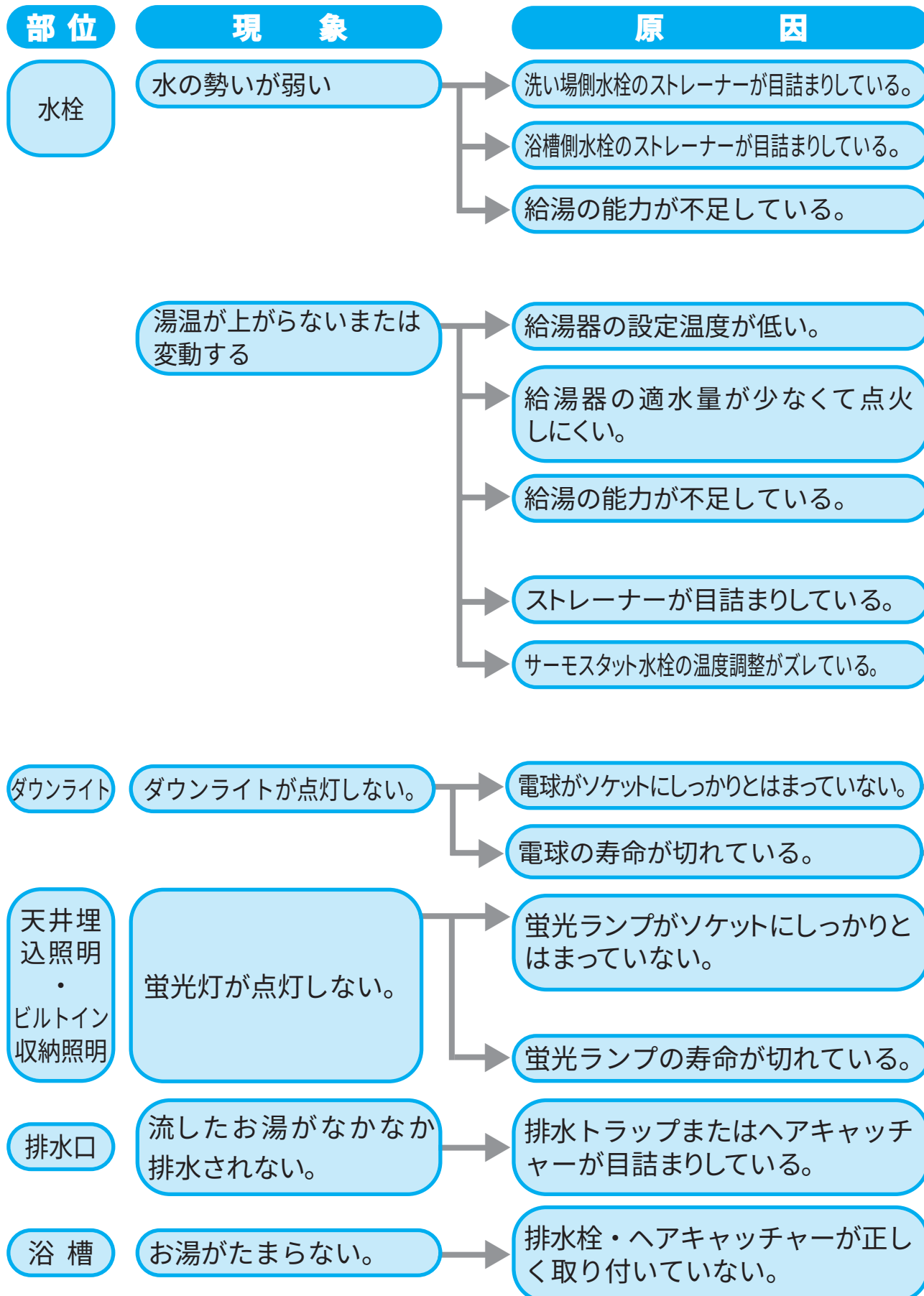
タンクが空のときや水抜きをした後は、絶対に運転スイッチを入れないでください。

※異常に温度が上昇し、火災や破損の原因となります。



故障かな？と思ったら

天井換気扇・温水式換気乾燥暖房機・アクアジェット・あわりズム・ヒーリングライト・即湯システム
・浴室テレビ・バスオーディオについては各取扱説明書をご覧ください。



※自動湯張り、追いだき機能の異常については給湯機器の取扱説明書または給湯機器本体にてメーカーをご確認のうえ、給湯機器メーカーへご連絡ください。

確認方法・対応方法

参照頁

→ ストレーナーの掃除をします。

36

→ アフターサービスのページをご確認の上、ご連絡ください。

56

→ 浴室以外でできるだけ同時に湯を使わないようにします。

→ 給湯器の設定温度を上げます。

→ 給湯器の設定温度を下げ、適水量を多くします。
(給湯器の取扱説明書をご覧ください)

→ 浴室以外でできるだけ湯を使わないようにします。

→ ストレーナーの掃除をします。

36

→ 温度調節ハンドルを設定しなおします。
(水栓の取扱説明書をご覧ください。)

→ 電球をソケットに確実にはめます。

44

→ 電球を交換します。

44

→ 蛍光ランプを確実にはめます。

45

→ 蛍光ランプを交換します。

45

→ 排水トラップまたはヘアキャッチャーの掃除をします。

31

→ 排水栓及びヘアキャッチャーを正しく取り付けます。

31

左記の対応をしても直らないときは修理を依頼してください。

故障かな？と思ったら

天井点検口の取外し方

電気配線や配管関係などの点検・修理の際に工事業者様へお知らせください。

⚠ 注意

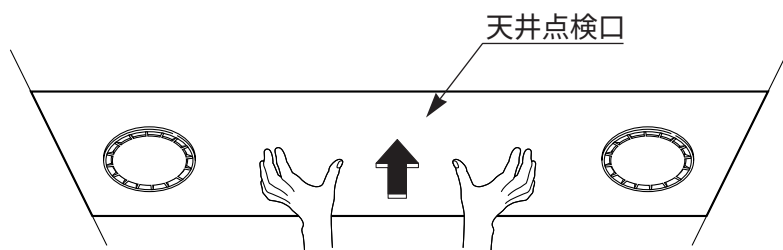
点検口は電気配線や配管関係などに異常が起きた場合、開けて点検・修理するためのものです。ご自身で開けたり、天井裏に物などを置かないでください。

※火災・感電や漏水の原因となります。



1

洗い場の床に脚立などのしっかりした足場を設置し、天井点検口をゆっくりと両手で上に押し上げます。

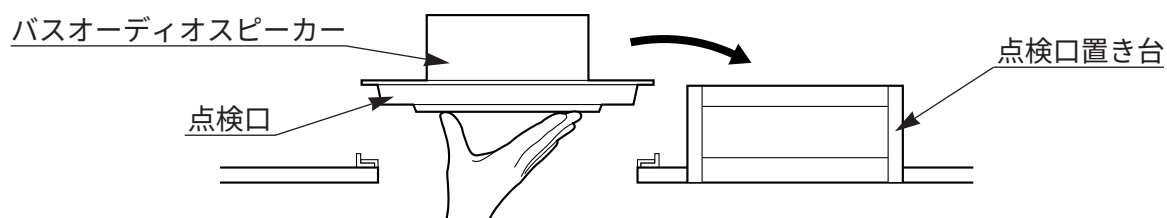


※イラストはバスオーディオ付の場合です。

※高所での作業となりますので、足場に十分ご注意ください。
浴槽の上によって作業しないでください。ケガをするおそれがあります。

2

天井裏の洗い場側にある点検口置き台に点検口を置き、点検・修理を行ってください。



3

点検口を再び取り付ける際は①②と逆の手順で取り付けます。

⚠ 注意

作業終了後、点検口がしっかりと取り付いていることを確認してください。
※落下して、ケガをするおそれがあります。



エプロンの取外し方

点検・修理の際に工事業者様へお知らせください。

⚠ 注意

エプロンはアクアジェット・あわりズム・即湯システムなどに異常が起きた場合に、開けて点検・修理するためのものです。ご自身で開けたり、外したままの入浴はおやめください。



エプロンの取外しの際は、軍手などの保護具を着用して行ってください。

※ 金具で指をはさんだり、**ケガをするおそれ**があります。



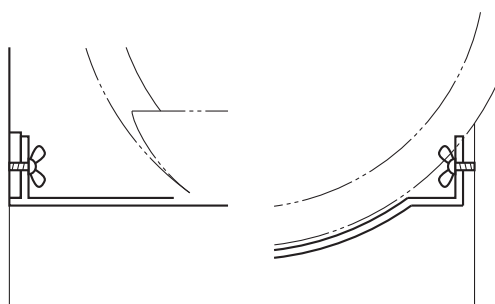
1

エプロン下のけこみカバーを取り外します。

P.42の「エプロン下けこみカバーの取付け・取外し」をご参照ください。

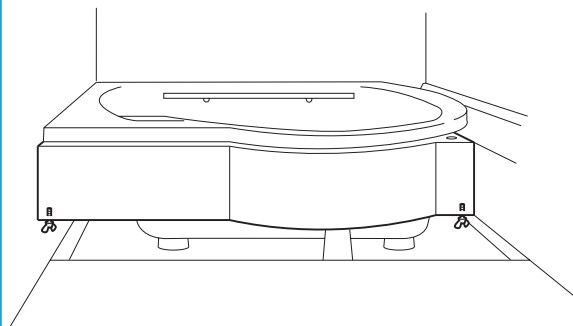
2

エプロンの下側から手を入れ、壁側とカウンター側にある蝶ボルト（各2本）をゆるめます。



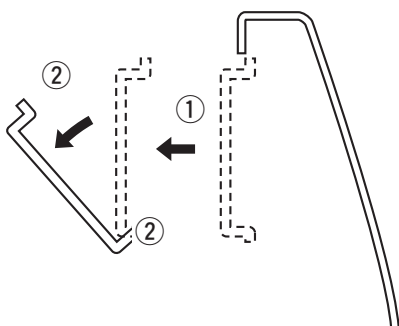
3

エプロンの両サイドの下側にある蝶ボルトをゆるめてエプロンを下へずらします。



4

エプロンが下がりきった後、エプロンを手前へ引き出し、倒します。



5

エプロンを再び取り付ける場合は、④～①と逆の手順で取り付けます。

故障かな？と思ったら

アフターサービスについて

1.修理を依頼される前に

商品が故障したらP.51の「故障かな？と思ったら」を参照してください。

それでも故障が直らない場合は、お求めの販売店または(株)INAXメンテナンスにご相談ください。

なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合

上記の場合、そのままにしておくと思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずご相談ください。

(お問い合わせ先は、P.56をご覧ください)



警告

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

※発火したり、異常作動してケガをすることがあります。



2.保証と保証期間について

当システムバスルームは、建築会社様への引渡し日より起算して、防水性能は5年間、防水性能以外については2年間を無償修理保証期間と致します。ただし、無償修理保証期間内でも、以下の事項は有料による修理とさせていただきます。

1. 取扱説明書に準拠しない取扱い、日常の維持管理を行わなかったことによるもの。
2. 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などによるもの。
3. 不具合の原因が製品以外にある場合、及びユニットバスルーム工事範囲外に起因するもの。
4. 色あせなどの経年変化または使用に伴う磨耗などにより生じる外観上の変化。
5. ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因するもの。
6. 火災、落雷、地震などの天変地異、公害、ガス害、塩害などに起因するもの。
7. 消耗品（パッキン、照明電球など）類。
8. 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結によるもの。
9. 指定規格以外の電気を使用したことに起因するもの。
10. ユニットバスルーム工事範囲外の給水・給湯配管からの錆等異物流入に起因するもの。
11. 温泉水・井戸水など水道関連法令に定める飲料用水質基準に適合しない水を給水したことに起因するもの。
12. 樹脂、金属に対して影響を与える洗剤、薬剤を使用したことに起因するもの。
13. アクアジェット・あわりズム・ヒーリングライトをご使用の場合において、浴槽浄化保温機（24時間バス）を使用されたことに起因するもの。

3.修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときは
お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

保証期間中の修理

保証期間内は保証の規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。
料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

連絡していただきたい内容

- 1.おなまえ・おところ・電話番号
- 2.商品名・品番←P.58の「品番を調べる」参照
- 3.取付年月日
- 4.故障内容・異常の状況(できるだけ詳しく)←P.51の「故障かな?と思ったら」参照
- 5.訪問ご希望日

修理の依頼先・アフターサービスについてのお問い合わせ先

お求めの販売店、または(株)INAXメンテナンスに連絡してください。

●お求めの販売店

●(株)INAXメンテナンス

TEL ☎ 0120-1794-11

受付時間9:00~22:00

FAX ☎ 0120-1794-56

365日受付&修理

4.部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、6年です。保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。

※補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5.定期点検のオススメ(有料)

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

- ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買上げより2年たったもの
- 温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの

定期点検については、(株)INAXメンテナンスまでご相談ください。

点検料金の内訳は、点検料(技術料)+出張料+部品代(交換した場合)です。

6.浴室リフレッシュプラン(有料)のご案内

(株)INAXメンテナンスでは、

- 浴室内の天井、壁、床、エプロン裏、水栓金具を用途にあった洗剤や研磨剤を使用して磨きあげる「バスルームオールリフレッシュ」
- 日頃お手入れの行き届きにくい浴槽裏側の床面清掃を代行する「バスタブ下部洗浄」などのサービス(有料)をご用意しております。
ぜひ、お気軽にお申し込みください。
お申し込みに関するお問い合わせは、次のフリーダイヤルをご利用ください。

(株)INAXメンテナンス

365日受付&修理

TEL ☎ 0120-1794-11

受付時間9：00～22：00

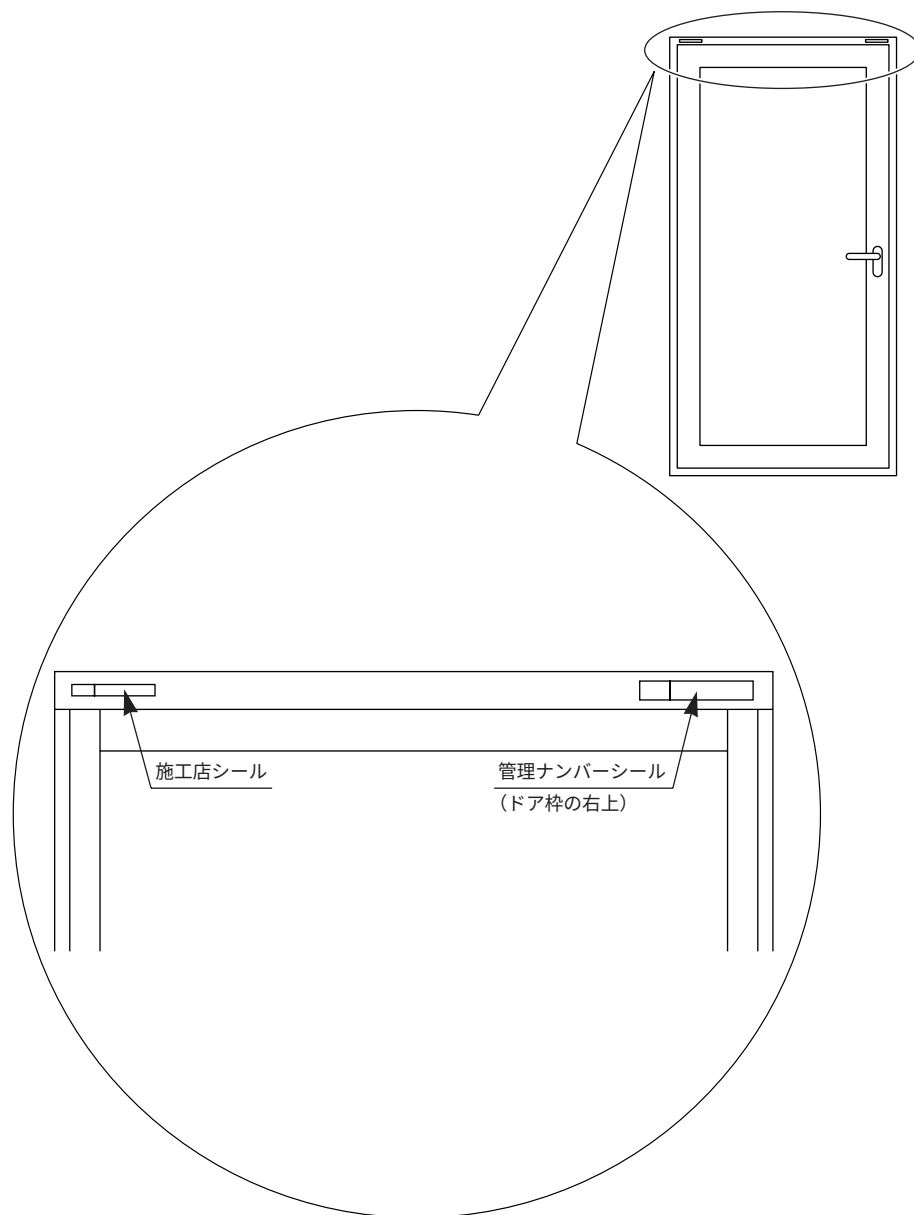
FAX ☎ 0120-1794-56

ホームページアドレス <http://www.i-mate.co.jp>

品番を調べる

ドアに貼ってあるシールを見る

浴室内ドア左側上部に貼ってある管理ナンバーシールで品番をご確認ください。



廃棄について

廃棄について

イデアトーン浴槽を廃棄処分される場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。
詳しくは、お求めの販売店にご相談ください。

浴室内に使用している主要部材は、ご覧のとおりです。

部位	材料
床	FRP（炭酸カルシウム、不飽和ポリエステル樹脂、ガラス繊維）、タイル（磁器質）
壁	タイル（陶器質、磁器質）、セメント系無機質板、鋼管
天井	PET（ポリエチレンテレフタレート）オレフィン鋼板、石こうボード
浴槽	FRP（炭酸カルシウム、不飽和ポリエステル樹脂、ガラス繊維）、アクリル樹脂
エプロン	基材…不飽和ポリエステル樹脂
カウンター	天板・前板…不飽和ポリエステル樹脂
けこみ	ポリスチレン、アクリル樹脂

株式会社 INAX

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは

(株) INAX「お客さま相談センター」

TEL ☎ 0120-1794-00

受付時間 平日 9:00～19:00

土日・祝日 10:00～18:00

(夏季、年末年始の休みは除く)

FAX ☎ 0120-1794-30

修理のご依頼は (本文の「アフターサービスについて」をお読みください)

お求めの販売店または

365日受付&修理

(株) INAXメンテナンス

TEL ☎ 0120-1794-11

受付時間 9:00～22:00

FAX ☎ 0120-1794-56

ホームページアドレス <http://www.i-mate.co.jp>

INAXインターネットホームページ・アドレス

<http://www.inax.co.jp/>

取扱店